

日時：令和元年6月20日(木) 13：00～16：00

場所：東川町複合交流施設 せんとぴゅあⅠ 講堂

令和元年度 大雪山国立公園 表大雪地域 登山道関係者による春季情報交換会

次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 情報交換
 - ・各団体の令和元年度活動予定について
4. 募集したテーマについて議論
 - ・登山者・利用者に対する登山道状況等の情報提供について
5. 話題提供
 - ・登山道維持管理部会の運営について
 - ・歩道等維持管理作業実施手順マニュアルについて
6. 閉会

大雪山国立公園 表大雪地域 登山道関係者による春季報交換会
登山道作業・活動内容

所属	令和元年度 活動場所・内容
環境省 上川自然保護官事務所 東川自然保護官事務所 上士幌自然保護官事務所	別紙の通り ※資料2
上川中部森林管理署	① グリーンサポートスタッフ(4名)を中心に、森林巡視・普及啓発活動及び歩道の軽補修等を実施(高原温泉～緑岳の区間)。 ② 大雪山森林生態系地域ボランティア巡視員により、林野火災、希少な高山植物の盗掘等、森林被害の未然防止等のため、入山者に対し、啓発・指導を実施予定。
上川南部森林管理署	内容:グリーンサポートスタッフによる登山道の巡視等 場所:十勝岳・富良野岳登山口 期間:6月～9月 ※林道状況は別紙の通り ※資料3
上川総合振興局 環境生活課	場所:姿見の池探勝路 時期:6～10月 内容:観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」による多言語解説文の作成(ソフト事業) 別紙の通り ※資料4
上川総合振興局 南部森林室	
上川町	別紙の通り ※資料5
東川町 旭岳ビジターセンター	
美瑛町	
公益社団法人 日本山岳会北海道支部	場所:大雪山国立公園内 時期:①2019年6月1日～10月10日 ②2019年7月21日 内容:①高山植物盗掘防止パトロール(大雪山系及び十勝岳連峰地区) 北海道環境生活部生物多様性保全課の委託事業。6月1日～10月10日の間に名簿に登録した当支部の会員、会友からなる監視員35名で延べ75日以上のパトロール活動を実施予定。盗掘の監視と合わせて当該山域におけるエゾシカの日撃、セイヨウオオマルハナバチの日撃についても報告する。 ②美瑛富士避難小屋携帯トイレブースの清掃・点検活動 道内の山岳関係団体でつくる美瑛富士トイレ管理連絡会の参加団体が持ち回りで実施している活動。当支部は7月21日(日)に会員、会友数名で活動の予定。
美瑛山岳会	場所:十勝岳連峰 時期:6月上旬、9月下旬 内容:十勝岳登山道の保護・規制ロープの着脱、指導標識の点検
富良野山岳会	場所:原始ヶ原滝コース橋整備2カ所 時期:関係機関と協議し、決定する。 内容:布部川にかかる丸太橋又は吊り橋を検討中。
大雪山国立公園自然公園指導員連絡協議会	
大雪山国立公園 パークボランティア連絡会	別紙の通り ※資料2-7
北海道大学 地球環境科学研究所	別紙の通り ※資料6
北海道大学大学院 農学研究所	別紙の通り ※資料7

所属	令和元年度 活動場所・内容
山のトイレを考える会	別紙の通り ※資料8
山岳レクリエーション 管理研究会	場所:研究会の方針として「大雪山・山守隊」に協力していく予定。 時期:山守隊の活動に準じる。
株式会社りんゆう観光	
(有)風の便り工房	
合同会社 北海道山岳整備	場所:愛山溪、姿見園地端部～当麻乗越、間宮岳、沼ノ原(巡視業務)、高原温泉ヒグマ情報センター 時期:5月末～10月中旬 内容:巡視業務、登山道補修業務、ヒグマ情報センター運営等
一般社団法人 大雪山・山守隊	場所:愛山溪、トムラウシ、裾合平、雲の平他 時期:5月末～10月中旬 内容:登山道補修イベント、室内イベント、大雪山情報収集と発信、他 詳細は別紙の通り ※資料9
山岳ガイド協会 表大雪地区連絡調整室	
山樂舎BEAR	場所:大雪山全域 時期:5月～10月 内容:大雪山・山守隊の活動に積極的に協力
大雪山倶楽部	
山岳ガイド 池永甦次	
大雪と石狩の 自然を守る会	別紙の通り ※資料10
NPO法人 大雪山自然学校	場所:姿見の池園地(姿見展望台及び第一展望台、またはそのどちらか) 時期:6月後半から9月前半のうち数日間 内容:現在、展望台のベンチ・テーブルのほとんどが破損しており、既に撤去済みの箇所も多い。そのため、利用者の多い姿見展望台と第一展望台を中心に、新たにベンチを制作し設置する。その際、既存ベンチの脚部分など使える部材は再利用する。
NPO法人 かむい	場所:黒岳、赤岳、緑岳 時期:6月～10月 内容:巡視活動、遭難対策活動
旭川東警察署	場所:旭岳姿見駅 時期:6月15日(土)午前中、7月中旬～8月中旬まで 内容:旭岳姿見駅で安全登山普及活動たすかるマップの配布
NPOアースウィンド	別紙の通り ※資料11
NPO法人 ezorock	場所:旭岳姿見園地周辺 時期:6月～10月 内容:ボランティア募集、マッチング、派遣、コーディネート(3分レクチャー、登山道整備、姿見園地巡回、ゴミ拾い等業務補助)

大雪山国立公園協働型管理運営体制の構築

1. 大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）準備会

- 大雪山国立公園ビジョンの議論【資料2-2】
- 第3回準備会の開催【秋めど】
- 大雪山国立公園連絡協議会（総合型協議会）の発足【年度内目標】

2. 登山道維持管理部会

- 部会の運営検討
- 部会成立後の取組の試行
 - ・最新の登山道関係情報の一元的な発信
 - ・歩道等維持管理作業実施手順マニュアルの運用

「話題提供」で議論

旭岳ビジターセンターの開館について

令和元年6月15日 13:00 開館式（オープニングセレモニー）

- 従来の自然情報の展示に加え、登山等に関するリアルタイムな情報を発信する施設
- エコツアーやガイドツアーの提供、紹介を行うエコツーリズムの拠点施設
- 8月以降、英語、中国語（繁体語）が話せる外国人職員を2名雇用し、多言語にも対応



本年度重点事項：利用環境づくりの強化、道外の利用者への周知

- 美瑛富士携帯トイレブース設置【資料2-4】
- 携帯トイレ普及キャンペーン
 - ・中岳温泉（7月4日～16日）
 - ・銀泉台（9月15日～23日 ※マイカー規制期間中）
 - ・高原温泉（9月20日～29日 ※マイカー規制期間中）
 - ・黒岳（使用方法説明、携帯トイレ頒布※協力金）
- 大雪山オリジナルパッケージ携帯トイレの一括受注体制の維持【資料2-5】
- 携帯トイレ、回収ボックスの維持管理体制の継続、
携帯トイレ販売場所の拡充（層雲峡、東川、上士幌、屈足のセイコーマートでの販売決定！）
【資料2-6】

- 登山関係SNSへのアプローチ
- 本州からの登山者を案内するガイドの皆様へのアプローチ

混雑時期、場所で仮設携帯トイレブースを設置する実効的キャンペーン

登山道関係イベント等

- 遭難対策ポールマーキング&ソリで木材運搬 in 裾合平（5月29日開催済）
- たまには山へ恩返し in トムラウシ（7月中旬開催）
- たまには山へ恩返し in 愛山溪（9月7日開催）

(グリーンワーカー事業)

- 清掃活動事業（層雲峡、勇駒別、天人峡、糠平、十勝三股の各集団施設地区等利用拠点の美化清掃）
- 登山者カウンターの設置による登山道利用者数調査
- 高原温泉・銀泉台自動車利用適正化対策業務
- スノーモビル乗入れ対策（普及啓発看板設置、パトロール）（12月～3月）
- 美瑛富士携帯トイレブース利用状況調査（7月～12月）
- 原始ヶ原湿原における植生復元手法の評価検討業務（7月～3月）
- トムラウシ南沼における携帯トイレブース増設（7月上旬）（※）
※南沼汚名返上プロジェクトの一環として実施

(自然ふれあい)

- パークボランティア活動（登山道維持管理、外来種対策、利用者指導、モニタリング等
【資料2-7】
- 層雲峡ビジターセンター及びひがし大雪自然館を拠点とする自然観察講座
- 子どもパークレンジャー事業（然別湖）

(野生生物の保護管理)

- 然別湖ウチダザリガニ対策事業
- 高原温泉ヒグマ情報センターの管理運営
※原生的な自然景観・生態系保全及び安全対策の充実と、体験の質・満足度の向上の両立
- セイヨウオオマルハナバチ防除の考え方に基づくモニタリング

(施設整備・維持管理)

- 環境省が管理する沼ノ平～姿見の池登山道（※）、中岳温泉～間宮岳登山道（※）、沼ノ原木道及びトムラウシ登山道の巡視
※登山道維持管理データベースを活用した管理。

○案内標識再整備

- 松仙園地区の整備工事実施（平成30年度豪雨により中断。2019年施工、2020年開通予定）、適正利用推進協議会の開催（1～3月）
- 白雲岳避難小屋の建替え検討
- 銀河流星ノ滝線歩道の整備検討

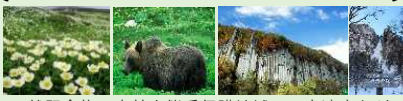
大雪山国立公園の価値と歩み

○優れた価値

日本でここだけにしかない
広大で原生的な山岳景観



多様な景観要素・高い生物多様性
高山植物、高山蝶、ヒグマ等大型哺乳類等
柱状節理、滝、温泉、湖、周氷河地形等



天然記念物、森林生態系保護地域、日本遺産など
多様な観点から高い評価

○これまでの歩み

調査研究や保全のさきがけ
・霊山碧水国立公園建白書
・大雪山調査会による学術研究と活用

大規模開発と
自然保護の調整

価値を損なわない範囲での
持続可能な利用がテーマへ

・大雪山グレード
・大雪山国立公園
携帯トイレ普及宣言

写真

現状と課題

○気候変動

紅葉色づきの低下
ササの増加
降水量の増加



○人口減少と高齢化
ライフスタイルの変化、
価値観の多様化

○外国人利用者の増加



写真

大きく影響

○山岳地域の荒廃

- ①保全上の課題
植生の変化、地形地質の侵食
- ②利用上の課題
施設の荒廃と老朽化、し尿の問題、情報提供、
利用者間、利用者・管理者の軋轢登山道の荒廃



○利用拠点の低迷

- ①体験型利用の取組
旅行形態の変化への対応不十分
資源の発掘、評価、ストーリー化が必要
- ②情報提供
体験型利用にアクセスするための情報発信
多言語による情報提供

写真
廃屋などおぼろげな
ない空間

地域の誇りとなり、世界の人々を魅了する山岳国立公園にするために！

大雪山国立公園の目指す姿

①大雪山の自然環境が守られ、より豊かになった国立公園

- 山岳地域・・・大雪山グレードに応じた保全
(植生変化への適応、消失した植生、地形地質の回復)
- 山麓地域・・・多様な景観要素の保全
(峡谷と柱状節理、湖、滝、温泉など)

②魅力を活かし、質の高い利用体験ができる国立公園

- 山岳地域・・・大雪山グレードに応じた管理と利用
(登山道荒廃の解消、案内板や誘導標識整備、し尿問題解決、進展する技術による軋轢の調整)
- 山麓地域・・・利用体験の質の向上
(各利用拠点の目的地化、ストーリー磨き上げ、体験方法提案)

③つながっていく国立公園

- 来訪者に向けた情報発信
- 大雪山国立公園に関わる者すべてに向けた価値の発信

④みんなが協働して管理運営する国立公園

- 協働型管理運営体制の維持
- 管理運営への利用者の参加、周辺地域との連携
- みんなが学び成長し、将来世代へ引き継ぐ国立公園

大雪山国立公園90周年（2024年度）に向けて取組加速
10年後、2030年にビジョン達成状況の評価

大雪山がいつまでも美しくあるために

大雪山国立公園

携帯トイレ普及宣言



大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言
シンボルマーク

私たちは大雪山の原生的な山岳景観を守るため、トイレ問題の解決に向けて、携帯トイレの普及に取り組んでいます！

登山者の
皆さまに
お願い

- 大雪山国立公園では、携帯トイレを常に持参しましょう。
- 携帯トイレは常設トイレがない箇所で使用しましょう。
- 美瑛富士やトムラウシ南沼では、し尿散乱が大きな問題となっています。避難小屋や野営指定地、水源地では、携帯トイレを必ず使用し、野外にし尿を排出しないようにしましょう。
- 登山道の途中など、問題となっていない場所でも、携帯トイレを使用し、し尿を持ち帰るよう努めましょう。

深刻なトイレ問題

大雪山では、トイレのない避難小屋や野営指定地を中心に、し尿散乱や高山植生の消失が大きな問題になっています。



野営指定地に
散乱するし尿や
ティッシュ



トイレのために
草花が踏まれ、
裸地化

大雪山国立公園 携帯トイレ普及宣言



大雪山国立公園連絡協議会、旭川勤労者山岳会、旭川山岳会、上川山岳会、上富良野十勝岳山岳会、新得山岳会、十勝山岳連盟、美瑛山岳会、富良野山岳会、札幌山岳連盟、日本山岳会北海道支部、日本ヒマラヤ協会北海道、HAT-J北海道支部、北海道勤労者山岳連盟、北海道山岳ガイド協会、北海道山岳連盟、北海道道央地区勤労者山岳連盟、山のトイレを考える会、大雪山国立公園パークボランティア連絡会

私たちは、

- 1 携帯トイレを適切に使用することで、雄大で原始的な景観と共存する登山を推進します。

【具体的目標】

野外し尿が周囲の自然環境へ大きな影響を与える水源や高山植生帯、または他の登山者に著しい不快感を与える野営指定地では、携帯トイレの使用により野外し尿ゼロを目指します。

- 2 登山者に快く携帯トイレを使ってもらえるような環境づくりを行います。

【具体的取組】

- ①携帯トイレブースの設置や維持管理を、関係団体が相互に連携、協力して検討します。
- ②携帯トイレの回収体制を維持、強化します。
- ③携帯トイレ回収BOXや販売箇所など、利用者向けの情報発信を行います。



携帯トイレの
販売場所は
こちら



山のトイレ
マップは
こちら

- 3 登山者に対して携帯トイレの利用を推進するための呼びかけを行います。
(表面をご覧ください)

- 4 携帯トイレの普及に協力してくれる人の輪を広げます。

【関係機関、団体、事業者のみなさまへのお願い】

- 携帯トイレの普及、利用者向けの情報発信に協力しましょう。
- 宣言の趣旨に賛同し、携帯トイレ普及パートナーになりましょう。
- 利用拠点や登山用品を扱う事業者は、携帯トイレの販売に協力しましょう。
※大雪山国立公園オリジナルパッケージの携帯トイレもあります。
仕入れに関するご連絡は【株式会社りんゆう観光 TEL.01658-5-3031】へ
- ガイド事業者は、自己の客に携帯トイレの使用を働きかけましょう。
- 携帯トイレやアウトドア製品を製作する事業者は、より使いやすい携帯トイレの開発や、携帯トイレを快適に使えるような登山用具を開発し、販売及び普及に努めましょう。



携帯トイレ普及パートナーにご登録ください！

携帯トイレの販売など、普及活動に協力する企業や団体等をパートナーとして登録します。
登録団体とその活動は、大雪山国立公園連絡協議会HP上に掲載し、PRさせていただきます。



登録方法の詳細はHPでご確認ください
<http://www.daisetsuzan.or.jp/toilet/>

令和元年度 美瑛富士における携帯トイレブースの設置について

東川自然保護官事務所

美瑛富士避難小屋及び野営指定地には、トイレがなく、し尿の散乱による自然環境の影響や景観の悪化が問題となっていた。山のトイレを考える会及び環境省では、平成 27 年度から山岳関係団体や関係自治体と協働し、携帯トイレシステムの試行的導入を行い、常設の携帯トイレブースの設置の有効性や設置後の運用方法等の検討を行ってきた。

4 年間の検討結果を踏まえ、常設の携帯トイレブースの設置の必要性及び有効性は明らかとなり、維持管理体制についても構築されることとなったことから、トイレ問題を改善するため、本年度、木製固定式携帯トイレブースの設置をおこなう。

1. 木製固定式携帯トイレブースの設置

業務名 : 令和元年度大雪山国立公園美瑛富士避難小屋携帯トイレブース設置工事

工期 : 令和元年 6 月 6 日から 9 月 30 日

業者 : 平井建設工業株式会社

詳細図 : 別紙のとおり

維持管理 : 環境省、美瑛町、美瑛富士トイレ管理連絡会にて、維持管理協定を締結。協定の実施事項に基づき、3 者で協力して維持管理をおこなう。



固定式携帯トイレブース設置位置

2. 仮設携帯トイレブースの設置、点検パトロール、アンケート調査

固定式携帯トイレブースの設置工事が終了するまでの間、仮設携帯トイレブースの設置、美瑛富士トイレ管理連絡会による点検パトロールを実施する。工事完了後は、維持管理協定に基づき、固定式携帯トイレブースの点検パトロールをおこなう。

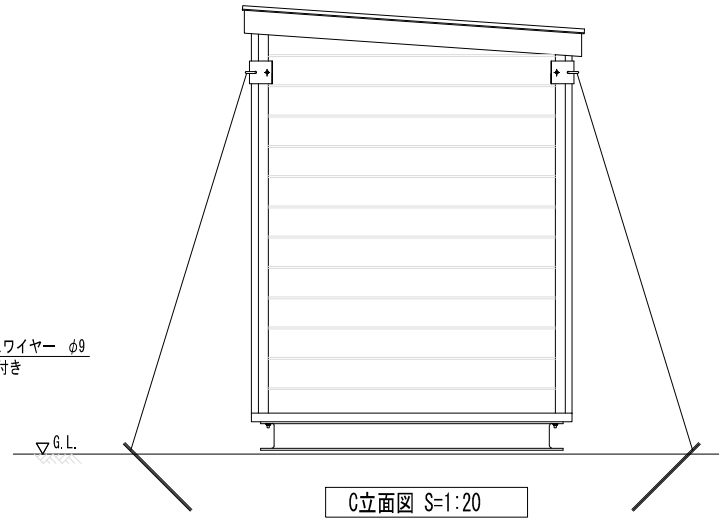
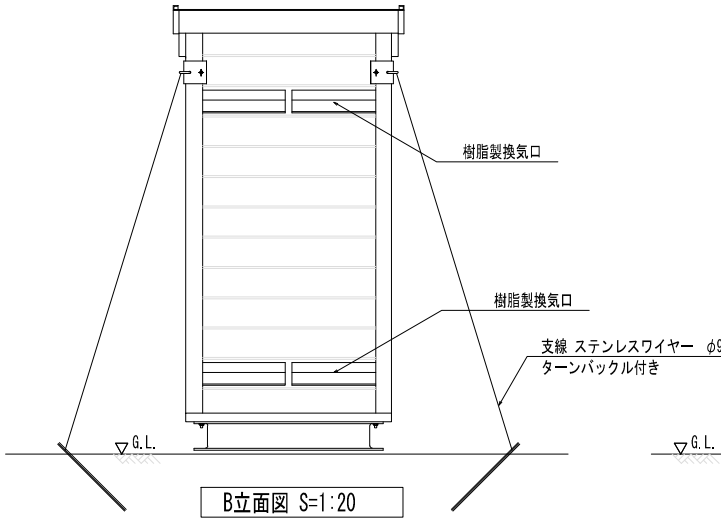
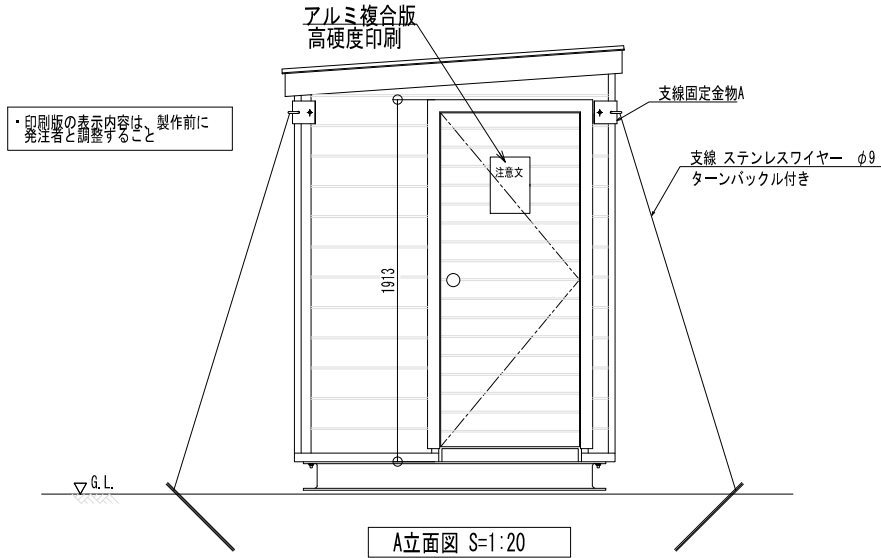
《実施項目》

- ① 携帯トイレブースの設置
- ② 定期的に設置状態、内部の汚れなどを点検、清掃する点検パトロール
- ③ 携帯トイレブース設置の効果等を評価するアンケート調査
- ④ 携帯トイレブースの撤去

表. 活動計画

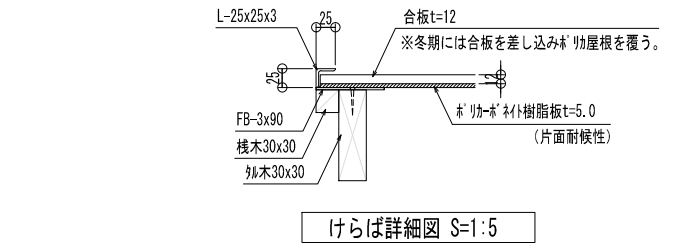
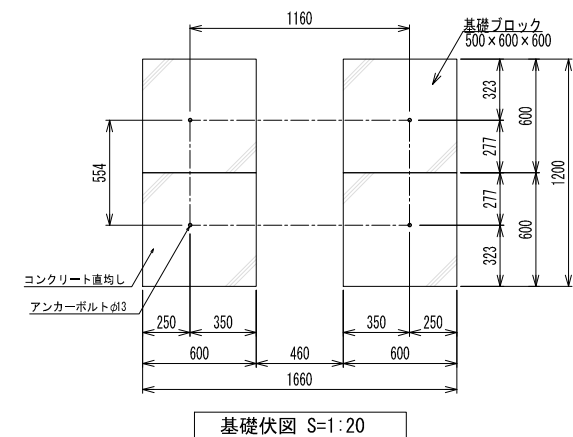
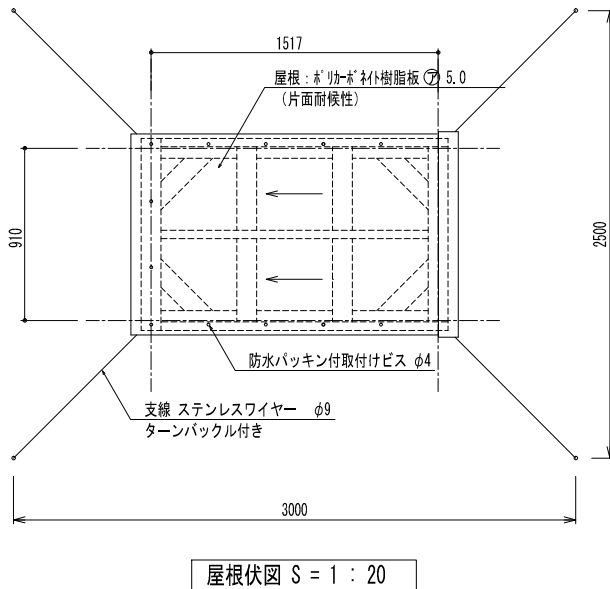
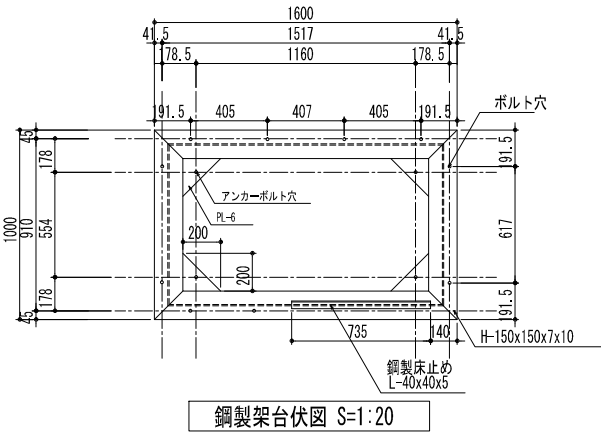
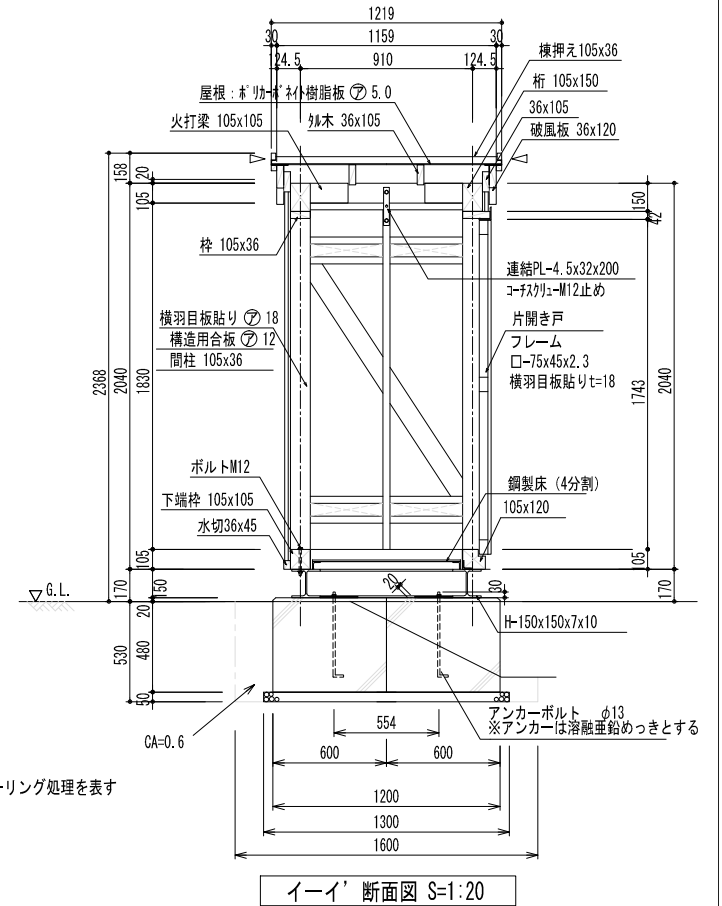
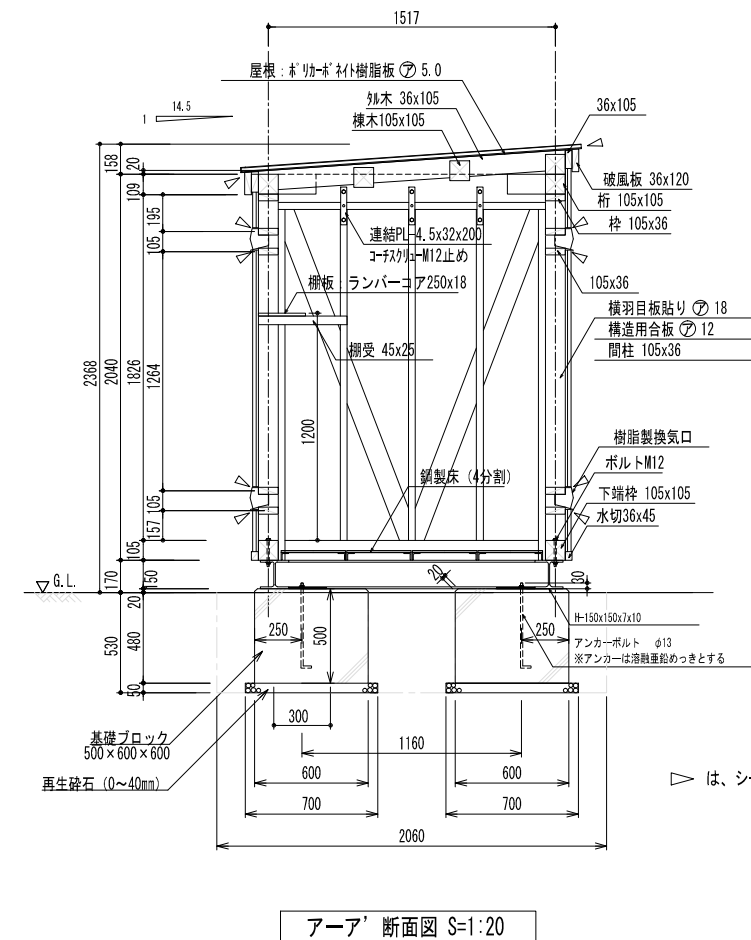
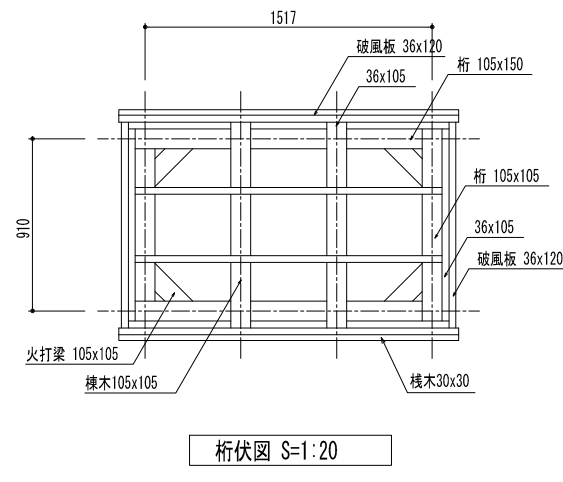
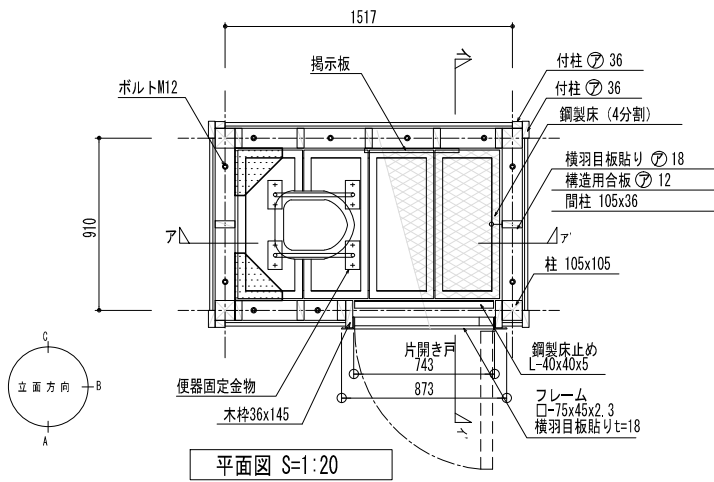
日時	実施項目	実施者
6月23日(日)	① 携帯トイレブースの設置	環境省・請負事業者・山トイレの会ほか
7月14日(日)	② 点検パトロール	札幌山岳連盟
7月中旬～ 8月下旬 ※期間中の土日で実施予定	③ 携帯トイレブース設置の効果等を評価するアンケート調査	環境省・請負事業者
7月21日(日)	② 点検パトロール	日本山岳会北海道支部
7月28日(日)	② 点検パトロール	北海道山岳連盟
8月4日(日)	② 点検パトロール	道北地区勤労者山岳連盟
8月11日(日)	② 点検パトロール	山のトイレを考える会
8月18日(日)	③ 点検パトロール	大雪山国立公園パークボランティア連絡会
9月1日(日)	② 点検パトロール	道央地区勤労者山岳連盟
9月15日(日)	② 点検パトロール	北海道山岳ガイド協会
9月29日(日)	④ 携帯トイレブースの撤去	環境省・請負事業者・山トイレの会ほか

携帯トイレブース詳細図



外部 仕上表	
部位	下地・仕上
外壁	構造用合板 t=12mm 下地張り 横羽目板張り (杉材 t=18mm)
屋根	ポリカーボネート板 t=5.0mm (片面耐候性) 張り
外部建具	鋼製枠建具 横羽目板張り (杉材 t=18mm) 見込み 65mm
外部金物	丁番、ドアチェック、表示付ノブ、ラバトリーストライク (非常開放可能型)
外部金物	鋼製架台、支線固定金物、樹脂製換気口 (8箇所/棟)、使用表示板、外部案内板

内部 仕上表		
部位	下地・仕上	備考
床	鋼製床 (枠付エキスパンドメタル)	携帯トイレ用折畳便器、便器固定金物
壁	壁下地合板・構造部材 現し	掲示板、棚板、SUS製荷物架けフック
天井	ポリカーボネート板・構造部材 現し	



特記事項

木材	木材は杉材 (角材はプレーナ加工) を使用する。 木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。 木材は全て加工後、AZNA ベンキュアECO30木材保存剤を加圧注入処理する。 加圧注入方法はJIS A 9002による。 本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。 木材の見え掛り部はR6面取を行なう。 木材の見え掛り部は木材表面保護塗料ガードラック塗装とする。
鋼材	鋼材は図示無き限り溶融垂鉛めっきとする。
ボルト類	ボルト・コーナースクリューはステンレスとする。 木ねじ類は、ステンレスとする。
製品保証	製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。 本製品は (一社) 日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。 本製品は (一社) 日本公園施設業協会のSP表示認定企業にて製作する。

・設置位置については監督員と協議して決定すること

公園名称	大雪山国立公園		
工事名称	令和元年度美瑛富士遊歩小トイレブース設計業務		
図面名称	携帯トイレブース詳細図	縮尺	図示
年月日	令和元年5月	図面番号	
会社名		照査	設計
事務所名	北海道地方環境事務所	照査	設計



「大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ」の販売に関するご案内

大雪山国立公園連絡協議会では、携帯トイレの普及を進めるため、平成29年度に「大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ」を作成しました。

平成30年度からは、大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナー事業者である、株式会社りんゆう観光様に、大雪山地域を代表してメーカーからの仕入れを一括で実施していただいております。

このような体制を構築した理由は、携帯トイレを本格的にさせるためには、携帯トイレが登山装備品と同様に位置づけられること、また、携帯トイレの普及体制の継続性を確保する必要があり、民間の手によって自律的に流通することが重要であると考えためです。

つきましては、各関係団体・事業者のみなさまにおいて、「大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ」の仕入れ・購入を希望される場合は、下記窓口までご連絡ください。

また、販売いただける可能性のある団体・事業者に周知にご協力いただくとともに、販売の意向を持つ事業者があれば、下記連絡窓口まであわせてご一報をお願いいたします。

大雪山国立公園が抱える山岳地域のし尿問題解決のため、携帯トイレの販売に積極的なご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

大雪山国立公園オリジナル携帯トイレに関する連絡窓口

株式会社りんゆう観光 層雲峡事業所（担当：白石氏）

〒078-1701 北海道上川郡上川町層雲峡

TEL. 01658-5-3031 FAX. 01658-5-3019

※価格（税込み）：1個350円（送料別途） ※最小販売単位：5個

【本状連絡先】大雪山国立公園連絡協議会事務局

環境省上川自然保護官事務所

〒078-1741 北海道上川郡上川町中央町603 TEL：01658-2-2574/FAX：01658-2-2681

環境省東川自然保護官事務所

〒071-1423 北海道上川郡東川町東町1-13-15 TEL：0166-82-2527/FAX：0166-82-5086

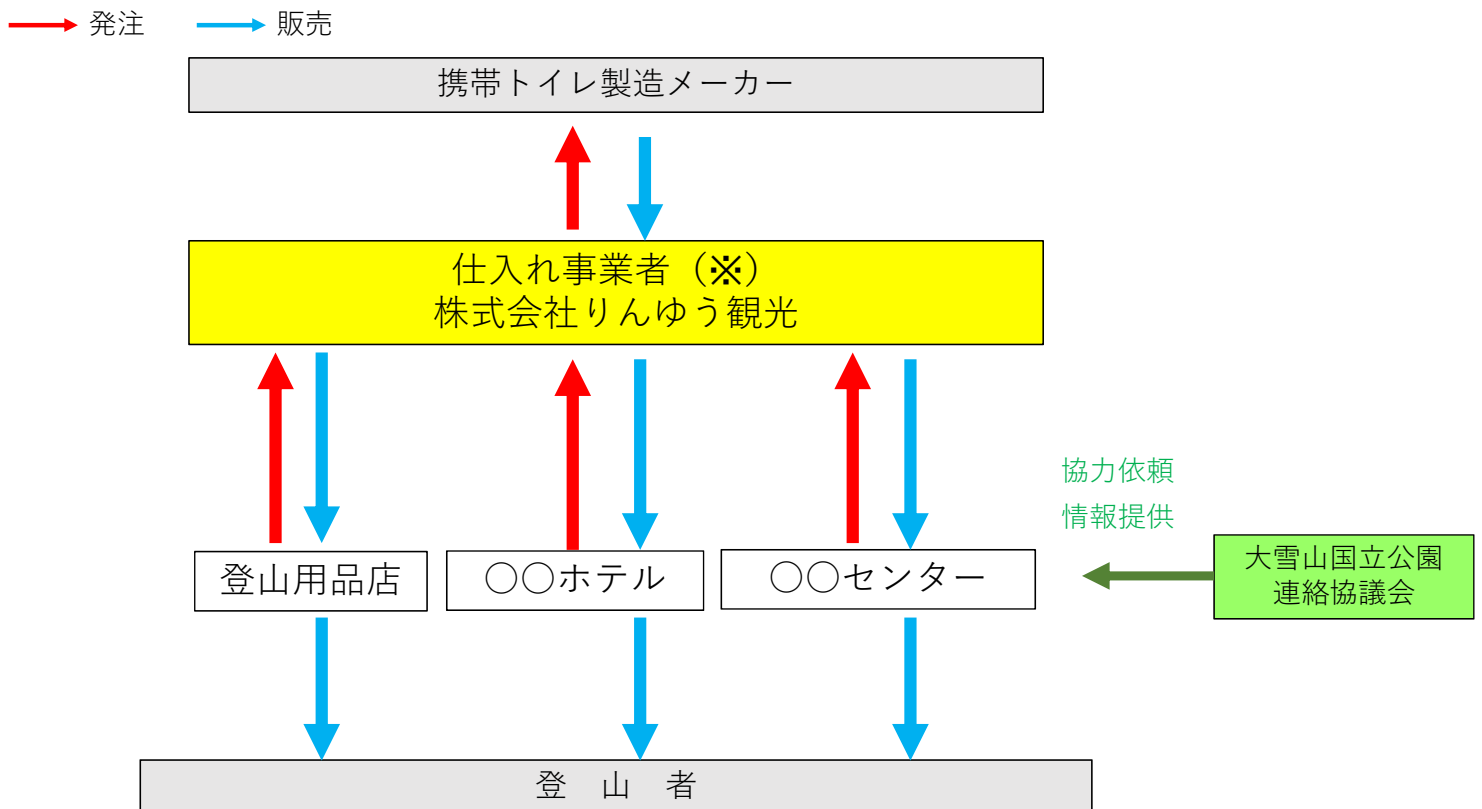
環境省上士幌自然保護官事務所

〒080-1408 北海道河東郡上士幌町字上士幌東3線235-33 TEL：01564-2-3337/FAX：01564-2-2933

大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ



大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ販売体制 (平成30年度～)



(※) 例えば、知床国立公園では安田商事株式会社様が、屋久島国立公園では屋久島観光協会様が、仕入れ事業者となっています。

大雪山国立公園におけるトイレの現状

2019年6月13日現在

上川・東川・上士幌自然保護官事務所

場所	市町	避難小屋・山小屋	野営場	トイレ	野外し尿の状況	携帯トイレブース	回収ボックス	携帯トイレ販売			
山岳地	黒岳	上川	有(管理人有)	有(野営指定地)	有	少	無	—	—		
	裏旭	東川	無	有(野営指定地)	無	少	無	—	—		
	白雲岳	上川	有(管理人有)	有(野営指定地)	有	少	無	—	有	上川総合振興局、上川地区登山道維持管理連絡協議会、山のトイレを考える会で取組	
	忠別岳	上川	有	有(野営指定地)	有	無	無	—	—		
	ヒサゴ沼	新得	有	有(野営指定地)	有	無	無	—	—		
	南沼	新得、美瑛	無	有(野営指定地)	無	多	有	—	—		
	沼ノ原大沼	上川	無	有(野営指定地)	無	未確認	無	—	—		
	ブヨ沼	上士幌、上川	無	有(野営指定地)	無	無	無	—	—		
	小天狗のコル	上士幌	無	有(野営指定地)	無	無	無	—	—		
	ニペソツ山前天狗	上士幌	無	有(暫定的な野営指定地)	無	少	有	—	—		
	双子池	美瑛、新得	無	有(野営指定地)	無	多	無	—	—		
	美瑛富士	美瑛、新得	有	有(野営指定地)	無	多	有	—	—		
	十勝岳避難小屋	美瑛	有	無	無	少	無	—	—		
	上ホロカメツク	上富良野、新得	有	有(野営指定地)	有	少	無	—	—		
登山口	層雲峡	上川	無	有	有	無	無	有	設置は環境省、回収は上川町	有	○層雲峡ビジターセンター ○黒岳ロープウェイ売店、7合目売店 ○セイコーマート、層雲峡各大手ホテル等
	愛山溪温泉	上川	有	無	有	無	無	有	設置・回収は上川町	有	○愛山溪倶楽部
	銀泉台	上川	無	無	有	無	無	無		無	
	大雪高原温泉	上川	有	無	有	無	無	有	設置は上川地区登山道維持管理連絡協議会、回収は上川町	有	○大雪高原山荘
	姿見	東川	有	無	有	無	有	無		有	○旭岳ビジターセンター ○大雪山旭岳ロープウェイ(姿見駅売店)
	旭岳温泉	東川	無	有	有	無	無	有	設置は振興局、回収は東川町	有	同上
	天人峡	美瑛	無	無	有	無	無	無		無	
	クチャンベツ	上川	無	無	有(仮設)	無	無	無		無	—
	美瑛富士登山口	美瑛	無	無	無	無	無	無		無	—
	白金温泉望岳台歩道登山口(白金温泉観光セン)	美瑛	無	有	有	無	無	有	回収は美瑛町	有	○ホテルパークヒルズ ○湯元白金観光温泉ホテル ○大雪山白金観光ホテル
	望岳台	美瑛	無	無	有	無	無	有	設置・回収は美瑛町	無	
	吹上温泉	上富良野	無	有	有	無	無	有	回収は上富良野町	有	○白銀荘
	十勝岳温泉	上富良野	無	無	有	無	無	有	回収は上富良野町	有	○十勝岳温泉 凌雲閣
	原始ヶ原登山口	富良野	有	無	有	無	無	無		無	
	シュナイダーコース登山口	上士幌	無	無	有	無	無	無		無	
	ユニ石狩岳登山口	上士幌	無	無	無	無	無	無		無	
	トムラウシ温泉コース登山口	新得	無	無	有	無	無	有	設置は北海道、回収は新得町	有	○トムラウシ温泉東大雪荘
	トムラウシ短縮コース登山口	新得	無	無	有	無	無	有	設置は北海道、回収は新得町	有	○トムラウシ温泉東大雪荘
	十勝岳新得コース登山口	新得	無	無	無	無	無	無		無	
	ニペソツ山十六の沢コース登山口	上士幌	無	無	有	無	無	有	設置は北海道、回収は上士幌町	無	
	ニペソツ山幌加温温泉コース登山口	上士幌	無	無	有	無	無	有	設置は北海道、回収は上士幌町	無	
	ウペペサンケ山登山口	上士幌	無	無	無	無	無	無		有	○ひがし大雪自然館
	天宝山登山口	上士幌	無	無	無	無	無	無		有	○ひがし大雪自然館
	南ベトウル山登山口	鹿追	無	無	有	無	無	無		無	
	白雲山然別湖側登山口	鹿追	無	無	有	無	無	無		無	
	白雲山士幌側登山口	士幌	無	無	有	無	無	無		無	
	東ヌプカウシヌプリ登山口	鹿追	無	無	無	無	無	無		無	
西ヌプカウシヌプリ登山口	鹿追	無	無	有	無	無	無		無		

令和元年度パークボランティア活動計画

日程	場所	行事	内容等
4月9日(火)	東川RH	○4月役員会	18時～
5月8日(水)	士幌町	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
5月10日(金)	上川町	○運営協議会総会	
5月11日(土)～12日(日)	十勝岳温泉	○5月役員会○総会 ●春山研修	1日目：総会 2日目：春山研修
5月30日(木)	層雲峡温泉	●自然公園クリーンデー	清掃活動
6月4日(火)	東川RH	○6月役員会	18時～
6月7日(金)、12日(水)	層雲峡温泉	●外来種防除活動(ルピナス等)	防除活動
6月8日(土)、9日(日)	十勝岳周辺 旭岳山頂～ 間宮岳	●登山道整備	ロープ設置、清掃等
6月21日(金)、24日(月)	赤岳	●高山蝶パトロール週間(週2回程度) ※高山蝶の増減傾向把握のためのモニタリングも含む	密猟防止パトロール
6月23日(日)	赤岳、緑岳、富良野岳	●高山蝶重点パトロール	密猟防止パトロール
6月25日(火)、27日(木)	十勝岳周辺 旭岳山頂～ 間宮岳	●登山道整備補完日(予定)	ロープ設置、清掃等
7月2日(火)	東川RH	○7月役員会	18時～
7月5日(金)	糠平源泉郷	●自然公園クリーンデー	清掃活動
7月8日(月)～12日(金)	然別湖	●ウチダザリガニ防除	ザリガニ防除
7月28日(日)	原始ヶ原	●植生復元モニタリング	モニタリング
8月4日(日)	大雪山全域	●自然公園クリーンデー 旭岳温泉・天人峡温泉・白金温泉・十勝岳温泉	清掃活動
8月6日(火)	東川RH	○8月役員会	18時～
8月6日(火)、20日(火)、28日(水)	姿見の池周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除月間	防除活動
8月7日(水)、22日(木)	赤岳	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
8月8日(水)	富良野岳	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
8月9日(金)、21日(水)	緑岳第二花畑	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
8月18日(日)	美瑛富士	●携帯トイレブース保守点検パトロール	点検パトロール
8月19日(月)	十勝三股	●植生復元活動	下草刈り
8月27日(火)	沼ノ平	●湿原植生復元モニタリング	モニタリング
8月29日(木)	銀泉台入口	●アラゲハンゴンソウ防除活動	防除活動
9月3日(火)	東川RH	○9月役員会	18時～
9月4日(水)	愛山溪	●登山道整備	登山道ササ刈り
9月14日(土)～23日(月)	赤岳銀泉台	●マイカー規制対応 ※土日祝日+月・水・金/週	利用者指導活動、 受付補助
9月20日(金)～29日(日)	高原温泉沼巡りコース	●ヒグマパトロール対応 ※土日祝日+月・水・金/週	自然解説活動、 受付補助
9月21日(土)、22日(日)	十勝岳周辺 旭岳山頂～ 間宮岳	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
9月27日(金)、28日(土)	十勝三股	●施設跡地植生復元	植樹及び保護柵設置
10月1日(火)	東川RH	○10月役員会	18時～
10月7日(月)～11日(金)	然別湖	●ウチダザリガニ防除	防除活動

1月18日(土)	旭川市内	○1月役員会	
2/1(土)~2(日)	東川管内	○冬期研修会	
1月~3月中旬(2回程度)	旭川市ペーパーン地区他	●スノーモビル等乗入れ規制合同パトロール、重点パトロール	
年間		●事務所行事への協力(観察会・フォーラム・協働型維持管理支援など) ●層雲峡VCにおける来館者への自然解説等 ●一般活動	

関係会議への出席、協働型維持管理支援

日程	場所	行 事	内容等
5月29日(水)	裾合平	◇【協働型】ポールマーキング	登山道整備
6月6日(木)	帯広市	○東大雪大雪地域登山道関係者による情報交換会	会議
6月12日(水)	然別湖	◇【協働型】然別自然休養林外輪山登山道整備	登山道ササ刈り
6月20日(木)	旭川市	○表大雪地域登山道関係者による情報交換会	会議
12月未定	旭川市内	○表大雪地域登山道関係者による情報交換会出席	会議
12月未定	帯広市	○東大雪地域登山道関係者による情報交換会出席	会議
12月未定	旭川市内	○スノーモビル乗り入れ規制会議出席	会議

○活動基盤整備、関係会議への出席、●パークボランティア活動(◇協働型維持管理支援活動)。

上川南部森林管理署管内の各登山道へ通じる林道状況は以下の通り。

(1) 大雪山国立公園内

①十勝岳

該当無し

②富良野岳・原始ヶ原

通行可（布礼別林道）

(2) 大雪山国立公園外

①夕張岳

通行不可（金山林道）

夕張岳登山道に至る金山林道が平成 28 年の台風により路肩が決壊したため、国道 237 号線から 8km 地点で車両の通行規制を行っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

車両の通行規制箇所から登山道入口までの 2km は、徒歩での通行が可能です。なお、復旧時期については未定です。

②富良野西岳

該当林道無し

③芦別岳

該当林道無し

■ 黒岳トイレ維持管理作業【実施予定】

- 1 供用開始：6月19日(水)
- 2 供用終了：9月30日～10月4日までの間

■ R1 地域政策推進事業

□ 自然観察会【実施予定】

- 1 目的：山岳トイレや登山道侵食等の問題認識を深め、環境保全意識の醸成を図りつつ、高山植物や山岳景観等大雪山の魅力もPRする自然観察会を実施する。
- 2 対象：登山初心者を含む一般公園利用者（各15名）
- 3 実施内容

高山植物盗掘・植生の推移・野生動物との接し方・山岳トイレ・登山道の荒廃等についてのレクチャー・施設概要説明・維持管理作業及び啓発活動等の実施

 - ・7月27日(土)：黒岳～間宮岳～裾合平縦走（高山植物啓発活動含む）
 - ・8月3日(土)：高原温泉（ヒグマ観察会）
 - ・8月24日(土)：黒岳・石室（黒岳トイレの維持管理作業見学含む）
 - ・1月25日(土)：東川町内（スノーシュー体験）

□ 登山道保全技術セミナー【実施予定】

- 1 目的：広大な大雪山において登山道の荒廃が各地で顕在化している中、行政機関だけでなく様々な関係者やボランティアによる協働型管理の推進が求められていることから、登山道荒廃のメカニズムを理解したうえで、適切な登山道補修整備に従事できる人材を増やす。
- 2 日時：8月17日(土)：黒岳 雲の平周辺
8月31日(土)：旭岳 裾合平周辺
- 3 対象：一般登山者、山岳会・関係行政機関等の山岳関係者
- 4 内容：荒廃している登山道等の補修を通して保全技術を学び、今後の補修へつなげる。

□ 登山道整備講習会【実施予定】

- 1 目的：登山道補修に関して指導的な役割を果たせるような人材を育成するため、山岳関係者を対象とした登山道整備講習会を開催する。
- 2 日時：現地講習会：未定（7～8月の平日） 黒岳雲の平～中岳周辺～旭岳裾合平
座学：未定
- 3 対象：今後登山道整備に継続的に従事する意欲のある山岳関係者
- 4 内容：高山植物の専門家を招き、植物学者の視点から見た登山道補修にかかる留意事項についてレクチャーいただく。座学の内容については未定。

■ 高山植物保護対策事業

高山植物盗掘防止パトロール【実施予定】

実施日	実施場所	参加者（予定）	備考
7月7日(土)	銀泉台、赤岳～小泉岳	関係機関	
7月27日(土)	黒岳～裾合平～姿見の池	山岳ガイド、一般参加者、振興局	自然観察会で実施

■ その他

- ・ 高原温泉沼めぐり歩道 ヤバッパ 沢橋梁設置（6月20日）・撤去（10月中旬）
- ・ 道有トイレ 維持管理作業（供用開始及び終了、浄化槽保守点検、補修等）
（銀河流星ノ滝、層雲峡野営場、天人峡、白金温泉、吹上温泉）

(4) 令和元年度事業計画（案）について

① 黒岳トイレの管理運営について

黒岳トイレの利用についてはオーバーユース状態であるが、利用者数に大きな増減は無かったと推測されるにもかかわらず、平成30年度の協力金収入は約91万円程度で前年度に比べて30万円以上減少した。

維持管理面においては、オガクズのバイオ処理性能が十分に発揮されない「水分過多」の改善を図るため、従来から検討されてきた「固液分離」による処理方式の導入により関係者の負担軽減を図っていくように努める。

また、ヘリコプターによるし尿運搬作業について、平成29年度にヘリ運航会社から「山岳地等の荷揚げ作業の減少等による影響」から料金の値上げを提示されたが、当協議会及び北海道で直ちに調達できる金額がなく、対応策の検討を行っている。対応策の一つとして具体的には固液分離処理した液体の一部について、ヘリコプターによらない下界への運搬について検討していく。

これらの状況から協力金徴収率のアップが必要であり、安定的な維持管理費を確保するため、ポスターの掲示やチラシ配布（備え置き）などの普及啓発を行うとともに7月後半の繁忙期については、黒岳石室管理人により協力金の呼びかけ等を行い納付の向上に努める。普及啓発にあたっては外国人にも理解できるようなポスター等作成について検討していく。

また、携帯トイレの利用拡大のための方策を検討していく。

② 登山道整備関係

平成30年度に設置した大雪高原温泉の携帯トイレ回収ボックスを維持していく。

③ 白雲岳避難小屋の管理運営等について

白雲岳避難小屋については、登山ルート的重要施設であることに鑑み、今年度も2名の管理人を配置し、登山者の安全確保と自然環境保護の啓発を図る。

懸案であった、避難小屋との通信環境整備について、衛星携帯を配備し気象状況や道路情報などの情報共有を図り登山者の安全確保に努める。

④ 自然保護巡視事業について

自然保護巡視事業は、高山植物の盗掘防止と利用者の安全と環境保護のため、上川町・りんゆう観光・高原山荘が負担し協議会で巡視員を確保してきましたが、平成29年度よりNPO かむいに巡視人員の確保も含め巡視事業をNPO かむいに委託しており今年度も同様とする。

2019 年登山道侵食調査，野営指定地調査，および登山者動向調査予定

北海道大学大学院地球環境科学研究院・環境科学院

渡辺悌二，小林勇介，王婷，セバステイエン・アビラ・エスプナ，
高田悠太郎，沙碩

(1) 登山道の荒廃に関わる調査

去年までに引き続き，登山道侵食調査に関わる調査を行います。

【場所】雲の平・北海平・中岳分岐

【時期】6月下旬～9月下旬 登山道計測調査（合計12日間）

【調査方法】「9 m一脚（LUMICA Birds iRod 6G-9000）」を用いたデジカメによる写真撮影測量ならびに GPS（GNSS）測量を行います。また，北海平にて，6月および7月中に計1，2回，ドローンによる撮影を行います（上川中部森林管理署へ申請書提出済）。なお，5月中旬に登山道残雪調査をすでに実施済みです。

【調査者】北海道大学大学院地球環境科学研究院（渡辺，小林）

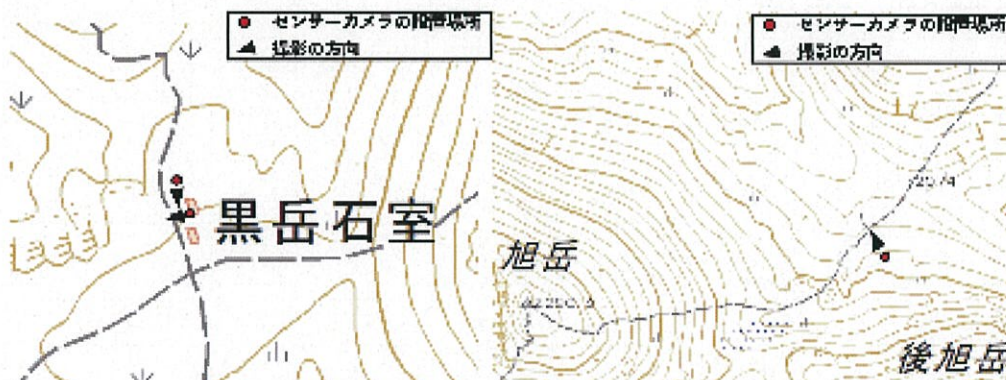
(2) 野営指定地の面積・地表面形態調査

【場所】黒岳野営指定地（旧サイトを含む），裏旭野営指定地

【時期】6月下旬～9月下旬（合計12日間）。センサーカメラは7月上旬から9月下旬に設置予定。

【調査方法】(1) 「4.5m一脚」を用いたデジカメによる写真撮影測量ならびに GPS（GNSS）測量，(2) ドローンによる写真撮影の2つの方法で野営指定地の面積および表面形態を測量します（過去のデータと比較することで土壌侵食量・侵食速度を計算します）。撮影は平日の早朝など登山者が少ない時間帯に行います。特に黒岳旧サイトでのドローンによる空撮は9月の平日に行います。(3) センサーカメラを用いて，キャンプサイトのテント数を把握します（下図参照）。カメラ撮影は，H29年に上士幌で原澤翔太さん（環境省上士幌自然保護官事務所）が実施した方法に基づき，夕方に自動撮影します。また，個人特定ができない遠方から撮影し，プライバシーには配慮します（画像は非公開とします）。

【調査者】北海道大学大学院地球環境科学研究院（渡辺，王，小林）



野営指定地利用状況把握のためのセンサーカメラ設置地点

(3) 大雪山国立公園の利用者へのアンケート調査

【場所】赤岳，黒岳，旭岳，緑岳，黒岳野営指定地，裏旭野営指定地，層雲峡ビジターセンター，層雲峡ロープウェイ駅周辺，銀泉台

【時期】6月下旬～9月下旬（合計60日間）

【調査方法】(1) 赤岳，黒岳，旭岳，緑岳の利用者を対象に，アンケート調査および小型 GPS ロガーの配布を行い，利用者の行動分析を行います。(2) 昨年に引き続き黒岳野営指定地で，また新たに裏旭野営

指定地で野営指定地の将来の管理等に関するアンケート調査を実施します。(3) 旭岳・姿見の池を訪れる外国人（中国人）観光客を対象に、大雪山自然学校と協力して、大雪山国立公園に関する環境教育素材の内容と教育実施デザインに関する予察調査を行います。(4) 層雲峡ビジターセンター、層雲峡ロープウェイ駅周辺、銀泉台で大雪山国立公園の持続可能な利用（エコツーリズム利用）に関するアンケート調査・短時間のインタビュー調査を行います。これらの調査は、いくつかのグループに分かれて実施します。

【調査者】 北海道大学大学院地球環境科学研究院（渡辺，高田，王，セバステイエン，沙，ほか）

（４）入林簿調査（室内作業）

黒岳7合目・銀泉台・高原温泉における2017年度および2018年度分の入林簿をいただき、登山者の行パターンの調査も行う予定です。

*なお、今年度も昨年度に引き続き、2～3月の間に調査結果のフィードバック発表会を行う予定です。

研究計画：植生保護ネットによる高山植生復元の効果の検証

北海道大学大学院農学院 佐々木美美
北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也

はじめに

大雪山国立公園の登山道において、損傷・流出した登山道わきの植生の回復を目指し、土壌の流出を防ぐために、植生保護ネットによる修復が行われている。例えば、雲ノ平、裾合平、トムラウシ南沼、原始ヶ原などで、登山者との協働により、ここ数年、植生保護ネットが敷設されている。これらの植生保護を今後も進めるには、これまでの取り組みによる成果を検証しておく必要がある。

そこで、本研究では、雲ノ平、裾合平、南沼の植生保護ネット敷設箇所にとどのように高山植生が復元したかを確認することを目的とする。

方法

まず、ドローンまたはレーザー方位測距計により、植生保護ネットの施工が行われた箇所とその周囲の測量を行う。

植生保護ネットの敷設箇所に、調査区（現地で確認の上決定）を設け、出現種、被度を記録する。地形に類似性のある周囲の登山道から外れた場所に対照区を設け、同様に出現種、被度を記録する。

以上の結果について、ネットの敷設時期や対照区との植生の回復状況の比較を行う。

スケジュール

7月上旬 現地下見、測量

7月下旬～8月中旬 測量、植生調査

成果の報告予定

登山道関係者情報交換会で中間報告。その後、各種学会、学術誌にて公表予定。

研究計画：登山者への情報提供の波及効果の検証

北海道大学農学部 八尋 聡
北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也

はじめに

山岳地では様々な施策、取り組みに関係者や登山者の協力を求める情報提供が行われている。大雪山においても、大雪山グレード、携帯トイレ普及宣言、南沼汚名返上プロジェクト、美瑛富士携帯トイレ使用などへの登山者への協力が呼びかけられている。特に2019年にはヒサゴ沼避難小屋の改修工事が予定されており、今夏の避難小屋と野営指定地の広報が取り組まれている。

本研究では、登山者の情報源、情報の伝達した速さ、情報の伝わった経路を明らかにすることを目的とする。それにより、今後の同様の取り組みの効果的な広報手段を検討する知見を得る。

方法

まず、大雪山グレード、携帯トイレ普及宣言、南沼汚名返上プロジェクト、美瑛富士携帯トイレ、ヒサゴ沼避難小屋修繕工事などの広報手段、時期などを関係者に聞き取る。

大雪山の主要登山口や山中の施設などにおいて、登山者に情報源、各種取り組みの認知度、その情報源、取得時期、経路などをアンケート調査により把握する。アンケートには料金受取人払封筒と、Web アンケートを併用する。

大雪山登山の関係者、各種メーリングリストなどにおいてもアンケートへの回答を依頼する。

また、上記の取り組みについて、SNS（ソーシャルネットワークサービス）において情報が波及した効果について、関連するキーワードを設定し、スクレイピングを行って、出現頻度と時期を確認する。

以上の結果から、登山者への情報発信に効果的な方法や時期などについて検討する。

スケジュール

6月 関係者とアンケート内容について検討、料金受取人払の手続き、Web アンケートサイトの構築

6月～9月 各種取り組みの広報状況を関係者に聞き取り、発信メディア、内容、発信時期の確認

7月下旬～9月 アンケート用紙・URL 記載の依頼カードを配布・設置、関係者に回答依頼

9～10月 各情報発信が SNS 上で出現した頻度、時期を確認

成果の報告予定

登山道関係者情報交換会で中間報告。その後、各種学会、学術誌にて公表予定。

大雪山で道が荒れてると思ったら、小屋・野営地に泊ったら、「やまレポ大雪山」にご協力下さい。

大雪山・山守隊
北海道大学大学院農学研究院

日本最大の大雪山国立公園は約300kmの歩道を持ちますが、過剰利用や老朽化、気候変動の影響から、荒れた場所も多く、実態の把握が課題です。8つの避難小屋、12の野営指定地で、管理人は黒岳と白雲岳のみ。その他は、何人が利用しているという基礎的な情報もありません。これでは、今後の管理やメンテナンスに不十分です。

人や機械による調査は経費もかかります。そこで、登山される皆様に、登山道の荒廃状況と、避難小屋・野営地の利用状況の投稿サイト「やまレポ大雪山」へのご協力をお願いします。

「やまレポ大雪山」は、登山者のみなさまに、荒れた登山道、壊れた道や施設、通過および宿泊された避難小屋・野営指定地・その他の状況について、投稿していただくサイトです。

登山道は、場所（地図で指定するか、およその場所を入力）、気づいたこと、日付、あれば写真を投稿していただきます。

宿泊地は、宿泊地を選択し、利用・通過した日に宿泊していたおよその数、気づいたこと、日付、あれば写真を投稿していただきます。



スマホ、PCのいずれかから投稿ができます。
ご協力をお願いします。

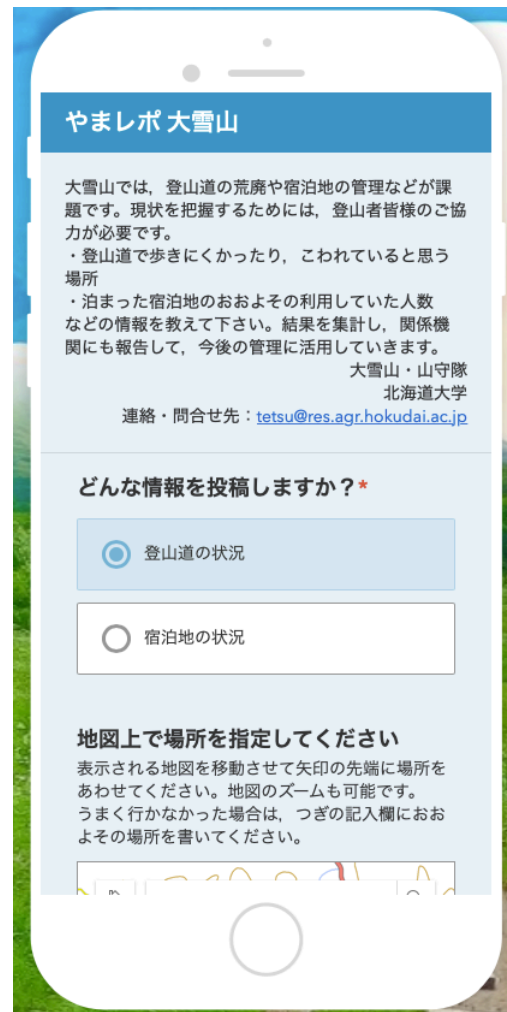
<https://arcg.is/1b1WqH>

結果のフィードバックと、関係機関・関係者への報告を夏山シーズン後に行います。日本一のお花畑をいつまでも楽しめるように、多くのみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

調査実施・連絡先：北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 電話&FAX 011-706-2452

電子メール tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp



大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言 実現に向けた取り組み

令和元年(2019年)6月20日

山のトイレを考える会

登山者が安心して携帯トイレを使える環境作り

1. 携帯トイレブースの設置

- ・トムラウシ南沼は7月上旬に1基増設予定
- ・美瑛富士避難小屋は6月23日にテント型設置予定
- ・美瑛富士トイレ管理連絡会による点検パトロールの実施(8回)

2. 回収ボックスの設置

- ・6月中旬までには設置をお願いしたい(10ヶ所)
- ・市町村の担当者が転勤してもこの仕事が引き継がれるよう、ルーチン化をお願いしたい

登山者が安心して携帯トイレを使える環境作り

3. 山のトイレマップの配備

- ・大雪山国立公園の各所に配備したいので協力をお願いしたい
- ・携帯トイレ普及宣言についてシンボルマークを入れて簡単に説明を追加
- ・現行のトイレマップに「北海道の山トイレ情報」「携帯トイレ販売店」をQRコードで追加

4. 英語版HPの作成

- ・6月末までに作成する
- ・将来的には英語版トイレマップも作成配備したい

山のトイレマップの変更

スマホで見る
北海道の山トイレ情報



北海道の山トイレ情報 検索



<http://yamatoilet.jp/i/yamatoilet.htm>

山のトイレを考える会事務局
〒004-0061 札幌市厚別区厚別西1条2丁目
3-18 小枝方
Email: hokkaido@yamatoilet.jp

編集・図版作成・デザイン・DTP作業：菅原靖彦

このマップは(株)リコー社会貢献クラブ FreeWill の
寄付金で作成しました



・大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言

大雪山に入山するときは携帯トイレ
を持ってきてください。
大雪山では野外し尿排出ゼロを
目指しています。
(2018年7月発出)



・北海道の山トイレ情報

北海道全域の登山口や山域の
トイレ情報が写真付きで掲載



・携帯トイレ販売店

北海道全域を掲載



山のトイレを考える会事務局
〒004-0061 札幌市厚別区厚別西1条2丁目3-18 小枝方
Email : hokkaido@yamatoilet.jp

編集・図版作成・デザインDTP作業：菅原靖彦

<http://yamatoilet.jp>

英語版HPの作成

Let's use a waste bag, when trekking in Hokkaido

If you are planning to go trekking in Hokkaido, Japan, we strongly recommend you to bring waste bags ("Keitai Toilet 携帯トイレ"). **Visitors need to use a waste bag in excretion, especially at Mt. Tomurashi and Biei Fuji of Daisetsuzan, Mt. Rishirisan, Rausu-dake of Shiretoko peninsula.** There are no toilet facilities in those mountains, and visitors are recommended to take their waste back to home or trailhead.



On some mountains in Japan, including Hokkaido, **the human waste and paper left by visitors are scattered and contaminate the environment of the mountains.** It is technically challenging and costly to dispose of human wastes in the mountains. In famous mountains such as Mt. Fuji and the Japan Alps, there are disposal facilities for human waste or wastes are carried out by helicopters. In other mountains in remote areas or where there are not many visitors, there are only vault toilets, or there is no toilet.



北海道大学大学院農学研究院 准教授
愛甲哲也氏の「公園の研究」より

英語版HPの作成

[The map of toilets in Hokkaido mountains](#) shows you the presence of toilets at the trailheads of the main hiking routes, the location of the booth for the waste bag and the special trash box. You can also check stores where you can get the waste bag.



Google Mapで登山者に山のトイレ情報をリアルタイムに提供可能となる

- ・登山口や山のトイレ
- ・携帯トイレブース
- ・携帯トイレ回収ボックス
- ・携帯トイレ販売店

In Hokkaido, many beautiful mountains are preserving the pristine landscape. Considering the environmental conservation of the mountain, we want you to enjoy the mountain of Hokkaido.

北海道大学大学院農学研究院 准教授
愛甲哲也氏の「公園の研究」より

効果的な広報により認知度を上げる

1. ネットの有効活用(拡散)
 - ・FB(山のトイレ、北海道の山 登山等)
 - ・ヤマレコ
2. 目につく場所の効果的な掲示
3. 口頭での案内(姿見駅でのレクチャー、美瑛富士ゲート番号問い合わせ時に周知)

目につく場所の効果的な掲示

右は層雲峡の公共駐車場の
トイレに貼ってありました。
(環境省で2018年掲示)
小便器の前、大便器の前は
他に掲示物はなく、目の高さ
に貼ってあり、非常に効果が
あると思った。

登山者が訪れる目につく所
を検討して、登山口に応じた
掲示板を作成すると効果が
あると感じた

大雪山に入山するときは
携帯トイレを持ってください。

大雪山では
野外し尿排出ゼロ
を目指しています。

携帯トイレをお持ちでない方は
黒岳ロープウェイ売店、温泉施設売店、
層雲峡ビジターセンター
等で購入してください。

携帯トイレ販売店

使用済み携帯トイレの
回収ボックスは
層雲峡ビジターセンター
にあります。

大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言

大雪山国立公園連絡協議会、華山山会、上田山会、富良野山会、
上富森野十勝山会、美瑛山会、華川野山会、新得山会、
十勝山会、北海道山会、北海道山会、日本山会北海道支部、
札幌山会、北海道山会、北海道山会、北海道山会、
HAI-1北海道支部、日本ヒマラヤ協会北海道、北海道山会、
山のトイレを考える会、大雪山国立公園ハイパーボランティア連絡会

携帯トイレブースや
回収ボックスの地図など

登山口ごとの確認・実施業務

青文字:山のトイレを考える会で実施

	回収ボックス	携帯トイレ販売	トイレマップ配備(案)	掲示板※2
愛山溪温泉	上川町	愛山溪倶楽部	愛山溪倶楽部	
層雲峡温泉	設置は環境省 回収は上川町	VC、RW山麓駅	VC、7合目登山事務所	公共駐車場トイレ
旭岳温泉	設置は振興局 回収は東川町	VC、RW姿見駅	VC、RW姿見駅	公衆トイレ
高原温泉	設置は協議会※1 回収は上川町	大雪高原山荘	森林パトロール事務所	公衆トイレ
白金温泉	美瑛町	ホテルパークヒルズ・湯元白金 観光温泉ホテル・大雪山白金観 光ホテル	美瑛白金観光センター	公衆トイレ
望岳台	美瑛町		シェルター	
吹上温泉	上富良野町	白銀荘	白銀荘	公衆トイレ
十勝岳温泉	上富良野町	凌雲閣	凌雲閣	公衆トイレ
トムラウシ温泉	設置は振興局 回収は新得町	東大雪荘	東大雪荘	公衆トイレ
幌加温泉	設置は振興局 回収は上士幌町	ひがし大雪自然館	ひがし大雪自然館	
(縦走路)				
大雪縦走路		白雲避難小屋	白雲避難小屋	

※1:上川地区登山道等維持管理協議会

※2:環境省で掲示

大雪山・山守隊 2019年 主催イベント(予定)

※予定のため、調整次第で時期、主催、開催の変更があります。また、これらの予定以外にも開催する場合があります。



みんなでイベント

5月29日 旭岳方面

(裾合平、中岳温泉、当麻乗越)

決定!!

ポールマーキング及びピウケナイ沢へ木材ソリ運搬
雪原での道しるべと、きっと楽しいソリでの荷上げ!



たまには山へ恩返し

8月17日 黒岳～雲の平～

昨年までの施工を観察し、考えて行動する
登山道と植生を守る施工イベント



写真報告展

6月1～31日 モンベル東川店

2018年の施工イベントの様子を伝えます
たまには山へ恩返しイベント報告展

決定!!



写真展示

8月2.3日 (金曜土曜)

札幌駅地下歩行空間チカホ

～大雪山の問題を伝えたい～
登山道やトイレ、山岳管理問題
気候変動による植生変化、などを展示
良い面も課題ある面も知って、山へGO!

決定!!



たまには山へ恩返し

7月中旬 トムラウシカムイ天上

今年はどれだけ進めるか?
2年目の木道荷上げと木道作り

日時、決まり次第
FB.ブログ.メール.お手紙などで
お伝えします!!



たまには山へ恩返し

8月31日 旭岳～裾合平～

崩れた木道は?法面の植生は復元したか?
8年目に突入の植生復元施工イベント



たまには山へ恩返し

9月初旬

愛山溪～三十三曲～沼の平～

いろいろやってみよう!
現場に合わせて考える施工
今年も行けるべ、愛山溪!!



大雪山の今昔

日時未定 現場または屋内

昔と今を比べてみよう
どうしてそうなる?どうすればいい?
昔の写真を使って見比べる勉強会

一般社団法人 大雪山・山守隊

TEL: 0166-56-9160

070-2616-4396

E-mail: yamamoritai@gmail.com



大雪山・山守隊企画

大雪山、むがしを探せ！

～写真で比べる今昔～



数十年前の大雪山の写真。昔の写真を今の様子と比較すると、様々な変化が見られます。そんな写真を見ながら、植生の変化や文化の違いなど、参加者の皆様と一緒に考えてみます。

日時：2019年6月16日（日） 13：30～14：30

会場：モンベル大雪ひがしかわ店2階

入場無料



司会進行：山樂舎BEAR代表 佐久間弘

写真提供：大雪山アーカイブス

「山守人～大雪山・山守隊
2018年度活動報告写真展」を
会場にて同時開催中！



お問合せ：一般社団法人大雪山・山守隊

TEL:070-2616-4396

mail:yamamoritai@gmail.com



山守隊HP

2019年度第39期大雪山講座「ひぐま大学」講座一覧

項目	実施	名称	主な講座内容・ 講座ルート・ 行動時間帯・ 登山時間距離	学習	
入学式	5月19日(日)	第39期入学式	<p>▶内容…入学式(ひぐま大学の概要と歩み、フィールド講座と室内セミナーの実施要領、参加申し込みと費用の支払い、紀要の説明) その他(スタッフ紹介、顔写真の撮影)</p> <p>▶学習…安全登山の心得(装備、基礎技術、事故防止など) 室内セミナー(第6講座)</p>		
			<p>時間帯 13:00~17:00</p> <p>会場 神楽公民館</p>		
第6講座	5月26日(日)	神居古潭・神居岩	<p>▶見所…神居古潭は、溪谷の兩岸に様々な変成岩が露出し、川底には褶曲地形や甌穴群が見られる珍しい場所です。神居岩をはじめ、数多くのアイヌ伝説が残る地形を訪ねます。*現地集合です。</p> <p>▶行程…旭川=神居古潭~登山口~神居岩(233m)~散策路コース(時計回り)~登山口<<周回>></p>		5月19日(日)
			<p>時間帯 9:00~15:00</p> <p>登山 約2km・約1.5時間</p>		
特別講座	6月23日(日)	ピンネシリ	<p>▶見所…増毛山地の南半分を占める樺戸山地。古い時代に堆積した砂岩・泥岩・火砕岩からなる丘陵性山地に、突出した堅牢な岩の山ピンネシリを訪ねます。すばらしい眺望とともに北海道の生い立ちを学びます。</p> <p>▶行程…旭川=新十津川=登山口~稜線コル~ピンネシリ(1100m)<<往復>></p>		6月19日(水)
			<p>時間帯 6:00~18:00</p> <p>登山 約11km・約5.5時間</p>		
第7講座	7月21日(日)	旭岳・裾合平	<p>▶見所…大雪山で最も新しく最も高い山・旭岳に登りその生い立ちを探ります。豊かな伏流水や豊富な温泉を生み山麓に様々な恵みをもたらしている旭岳の自然について学びましょう。山頂の御鉢平カルデラも必見。</p> <p>▶行程…旭川=旭岳温泉=姿見駅~旭岳(2191m)~間宮岳(2185m)~裾合平~姿見駅<<周回>></p>		7月17日(水)
			<p>時間帯 5:00~18:00</p> <p>登山 約12km・約7時間</p>		
第8講座	8月25日(日)	上ホロ山・十勝岳	<p>▶見所…ダイナミックな火山活動を展開している十勝岳連峰を縦走し、その火山の成り立ちを学びます。噴火と火砕流がつくる地形、泥流跡地の回復植生、強風がつくる風食ノッチなどを観察します。</p> <p>▶行程…旭川=望岳台~十勝岳(2077m)~上ホロかメットク山(1920m)~十勝岳温泉<<縦走>></p>		8月21日(水)
			<p>時間帯 5:00~19:00</p> <p>登山 約12km・約8時間</p>		
第9講座	9月8日(日)	緑岳	<p>▶見所…ハイマツの緑とウラジロナナカマドの深紅、ダケカンバの黄色がコラボする緑岳の秋を楽しみます。山頂から白雲岳や高根ヶ原を展望し、大雪山の成り立ちを学習します。東大雪をはじめ、斜里岳や知床連山の遠望ができます。</p> <p>▶行程…旭川=高原温泉~展望台~第一花園・第二花園~緑岳(2019.5m)~緑岳稜線<<往復>></p>		9月4日(水)
			<p>時間帯 5:00~19:00</p> <p>登山 約9km・約7.5時間</p>		

修学旅行	10月12・13日	支笏湖イチャン山	<p>▶見所…紅葉に染まる支笏湖とサケの遡上する千歳川を見学します。支笏湖や樽前山を生み出した支笏火山について学びます。イチャンコッペ山に登って、知られざる絶景も堪能します。天気により樽前山へ変更も。</p> <p>▶行程…旭川=支笏湖=R453 登山口～稜線(外輪山)～H789M 地点～イチャンコッペ山(828.7m)《往復》</p>		10月9日(水)
	時間帯	6:00～翌 18:00	登山	約7km・約4時間	
夏山を語る集い	11月13日(水)	夏山を語る	<p>▶内容…夏の講座が終了したところで、それまでの講座のスライド等を見ながら、夏山の反省と意見交換会を行います。お弁当やお酒も出て受講者・スタッフの親睦会も兼ねています。講座で大変だったこと、改善してほしいこと、次年度の講座の要望など、自由に語り合う集いです。</p>		
	時間帯	18:00～21:00	会場	神楽公民館	
第10講座	2月16日(日)	中鶴根山	<p>▶見所…旭川市の自然公園・21世紀の森をスノーシューで散策します。積雪・着雪がつくる冬の造形やアニマルトラッキングを楽しみます。中鶴根山頂にある高さ21mの展望台からは、白銀に輝く愛別岳や旭岳などが一望できます。気温によってはダイヤモンドダストも。</p> <p>▶行程…旭川=21世紀の森～中鶴根山(678m)《往復》</p>		2月12日(水)
	時間帯	8:00～15:00	登山	約3km・約3時間	
卒業式	3月14日(土)	卒業・修了	<p>▶内容…卒業式(卒業証書・修了証書・特別卒業証書・皆勤賞の授与、卒業生・来賓メッセージ)に引き続いて、楽しい祝賀会(ミニ演奏会、祝賀会、講座スライド、オークション、メッセージ、校歌斉唱)があります。中でもオークションは毎年好評です。</p> <p>▶紀要…「カムイミントラ」第39号発行</p>		
	時間帯	17:00～21:00	会場	扇松園(高砂台)	
開講の趣旨	<p>大雪山講座「ひぐま大学」は、大雪山系を主なフィールドに、四季を通じて実施される市民のための自然観察講座です。北海道の高峰が集まる大雪山国立公園の山々を登って、大自然の成り立ちや営み、そこに生きる動植物や地形などについて学び、このかけがえのない恵み豊かな自然をよりよい姿で次世代にひきつぐことを願って開かれています。</p> <p>開講から38年が経ち、受講者数はすでに2000名(延べ)を超えました。すばらしい自然とすてきな人々との感動的な出会いを求めて、たくさんの皆さんが参加して下さることを願っています。</p>				
実施要領	<p>【1】講座は2年制で、毎年フィールド講座3講座以上の出席が必要です。1年で修了、2年で卒業です。(修了証書・卒業証書が授与されます)</p> <p>【2】講座には登山経験のあるスタッフが同行し安全を期しますが、原則として登山行動は自己責任です。</p> <p>【3】室内セミナーは、フィールド講座の説明と事前学習を行います。学習は知人・友人・家族も参加できます(資料を希望する場合は資料代が必要です)。会場は神楽公民館(神楽3の6)です。</p> <p>【4】現地までの交通は、参加人数に応じて手段が変わります。参加者は、傷害保険が適用されます。</p> <p>【5】入学の申し込み・申込金6000円(テキスト代・紀要代・運営経費等)は、新規・継続いずれの場合も毎年必要です。</p> <p>【6】フィールド講座の参加費(交通費等)は、概ね一講座5000円～10000円(修学旅行や特別講座は別途)です。</p> <p>【7】修学旅行と特別講座は、聴講生を募集(参加費は2000円高)します。</p> <p>【8】講座の出欠は、年度始めの講座を除いて一つ前の講座の室内セミナーのときに確定します。</p> <p>【9】参加費の支払いは、室内セミナーの時をお願いします(4日前までのキャンセルは半額返却)。</p> <p>【10】安全管理のため、入学時に健康等に関する問診票の提出をお願いします(使用・管理は厳守)。</p> <p>【11】卒業後も繰り返し入学することができます。</p>				

2019 年度活動計画

A 大雪山に関する取り組み

……大雪山国立公園の高山環境・森林環境・生物多様性等を保全するため、次の活動を行う

1	世界遺産等に関する取り組み	①第 21 回大雪山フォーラムの開催 ②大雪山と世界遺産に関する学習と研究 ③大雪山国立公園協議会への参加と提言 ④関係行政機関と話し合い・要請・提言（必要に応じて）
2	高山帯に関する取り組み	①高山帯パトロール活動の実施（ひぐま大学・登山道関係者情報交換会・大雪山森林生態系保護地域の巡視活動・北海道高山植物保護ネットと連携） ②大雪山における外来種セイヨウのモニタリングと情報収集
3	森林帯に関する取り組み	①森林・林道開発に関する情報収集と監視活動 ②森林生態系保護地域における巡視活動 ③大規模林道跡地調査（※関連継続調査・滝雄厚和線等）
4	地熱開発に関する取り組み	①白水沢地熱発電に関する上川町・開発業者の動向把握 ②大雪山における地熱開発の情報収集 ③地熱発電に関する調査・研究活動

B 石狩川に関する取り組み（あさひかわサケの会と協働）

……石狩川水系上流部の河川環境の保全と回復をはかるため、次の活動を行う。

1	サケに関する取り組み	①さけゼミナールの開催とサケの里親活動 ②市民向けのサケ関連資料の作成 ③サケ人工産卵床造成と受精卵埋設及びモニタリング ④サケの産卵床および回帰調査
2	河川環境に関する取り組み	①河畔林の連続性・河川生物保全に関する取り組み（行政と連携） ②河川工事・河川環境等の監視及び提言活動 ③石狩川の湧水・伏流水調査 ④関係行政機関との話し合い・要請・提言・協働（必要に応じて）
3	市民向けイベントの取り組み	①石狩川クリーンウォーク ②パネル写真展（学びピア展・みどりの回廊展・CoCoDe 展・公民館等での展示） ③サケ案内養成講座および市民現地ガイドの実施 ④サケ出発式・カムイチェプノミ（アイヌ民族文化保存会との協働） ⑤サケクッキング（公民館と連携）、トバづくり講習会 ⑥サケのふるさとを訪ねて ⑦さけの出前授業及び学習活動

C 身近な自然に関する取り組み

……上川盆地の身近な自然の生態系と生物多様性を守るため、次の活動を行う。

1	地域の緑地に関する取り組み	①市内の各種公園におけるモニタリング及び調査 ②街路樹・樹林帯に関する調査・研究 ③関係行政機関との話し合い・要請・提言（必要に応じて）
2	外来生物に関する取り組み	①セイヨウの定点観察（マルハナ市民ネットと協働） ②セイヨウ花資源調査（マルハナ市民ネットと協働） ③外来種学習会、セイヨウ捕獲法（マルハナ市民ネットと協働） ④セイヨウ一斉防除・モニタリング活動（上川総合振興局と連携）
3	地域づくりに関する取り組み	①ジオパーク構想推進協議会への参加と提言 ②環境アドバイザー活動・公民館活動等への協力 ③あさひかわ自然共生ネット、突哨山運営協議会等との連携

D 環境教育・普及に関する取り組み

……地域から地球まで生命を大切にす環境教育を実践し広げるため、次の活動を行う。

1	市民講座に関する取り組み	①大雪山講座「ひぐま大学」の開講と紀要「カムイミントラ」の発行 ②石狩川講座「かわせみ大学」の開講 ③自然学園「グリーンフォーラム旭川」の開校
2	普及・啓発に関する取り組み	①会報「ヌタブカムシベ」の発行 ②市民学習会「ちゃらんけ」の開催 ③旭川市環境アドバイザーの活動 ④緑の回廊展・学びピア展・CoCoDe 祭・公民館交流祭り展等に出席
3	組織・連携に関する取り組み	①あさひかわサケの会、大雪山マルハナバチ市民ネットとの連携活動 ②加盟・提携団体との交流及び連携活動（北海道自然保護連合、北海道さけネットワーク、旭川・森と川ネット 21、端数倶楽部ほか）

大雪山 花ボランティア・セミナー

環境省自然環境局生物多様性センター委託事業

地球温暖化の影響は、これまで人間生活の影響をほとんど受けてこなかった高山生態系にもはっきりと現われ始めています。その変化を登山者の眼でとらえ、しっかりと記録し、将来へ残していくことは地球環境変化への関心を高めるだけでなく、将来の生態系変化予測や高山生態系の保全対策への提言にもつながる行動です。市民参加型環境モニタリングの実践例として大きな注目を集めています。大雪山の高山植物について学び、現地同行し記録を残す研修を実施します。

6月8日	(土)	旭川開講	座学：地球温暖化と高山生態系・調査地の高山植物	旭川9：30 札幌9：30	
6月9日	(日)	札幌開講			
6月22日	(土)	現地講習：大雪山赤岳コマクサ平、雪融け直後の開花			
7月6日	(土)	現地講習：大雪山赤岳コマクサ平、開花種多数の時期			銀泉台9時
7月20日	(土)	座学：訪花昆虫蜂の生態	札幌9時半～／旭川16:00～		
7月21日	(日)	現地講習：大雪山黒岳か赤岳 蜂現地観察			9時～
8月3日	(土)	現地講習：大雪山赤岳第4雪渓”雪田の夏季”			9時～
8月24日	(土)	現地講習：大雪山赤岳第4雪渓”雪田の秋季”			9時～
9月14日	(土)	現地講習：結実観察			9時～
夏季全日程参加費 2000円			※冬季日程10月～2月2000円		



詳細問い合わせ・申し込みは下記へ

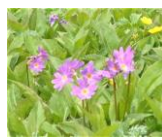
主催 NPOアース・ウィンド

共催 横須賀邦子ガイド事務所

069-0803北海道江別市野幌屯田町10-11

kuniko.yokosuka@icloud.com

電話 090-7645-7199 FAX 011-389-9445



地球温暖化と高山生態系 講演会

大雪山は人の経済活動のない山岳地です。そこで温暖化のデータ収集を継続しているボランティアのデータを基に、研究者が解析した高山帯の温暖化変化「高山の花と雪」について解説します、また調査活動を紹介します。

講演；北海道大学地球環境研究院 准教授 工藤岳

6月8日（土）旭川ときわ市民ホール 9：30-11：30

6月9日（日）札幌エルプラザ多目的室 9：30-11：30

参加無料、申し込み6月5日まで下記へ

■申し込みは氏名、電話番号をお知らせください。

主催：NPOアース・ウィンド

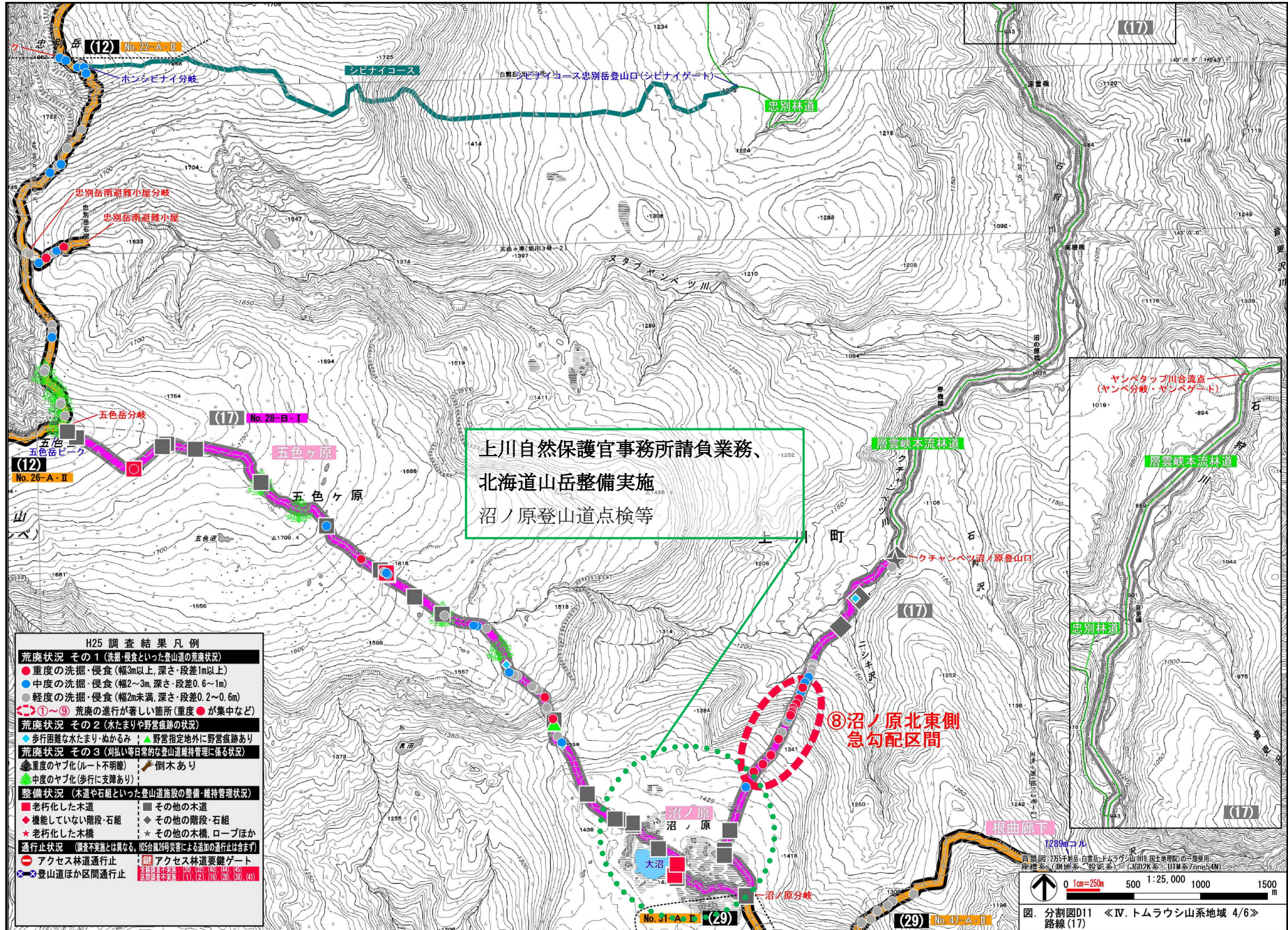
共催：横須賀邦子ガイド事務所

069-0803北海道江別市野幌屯田町10-11

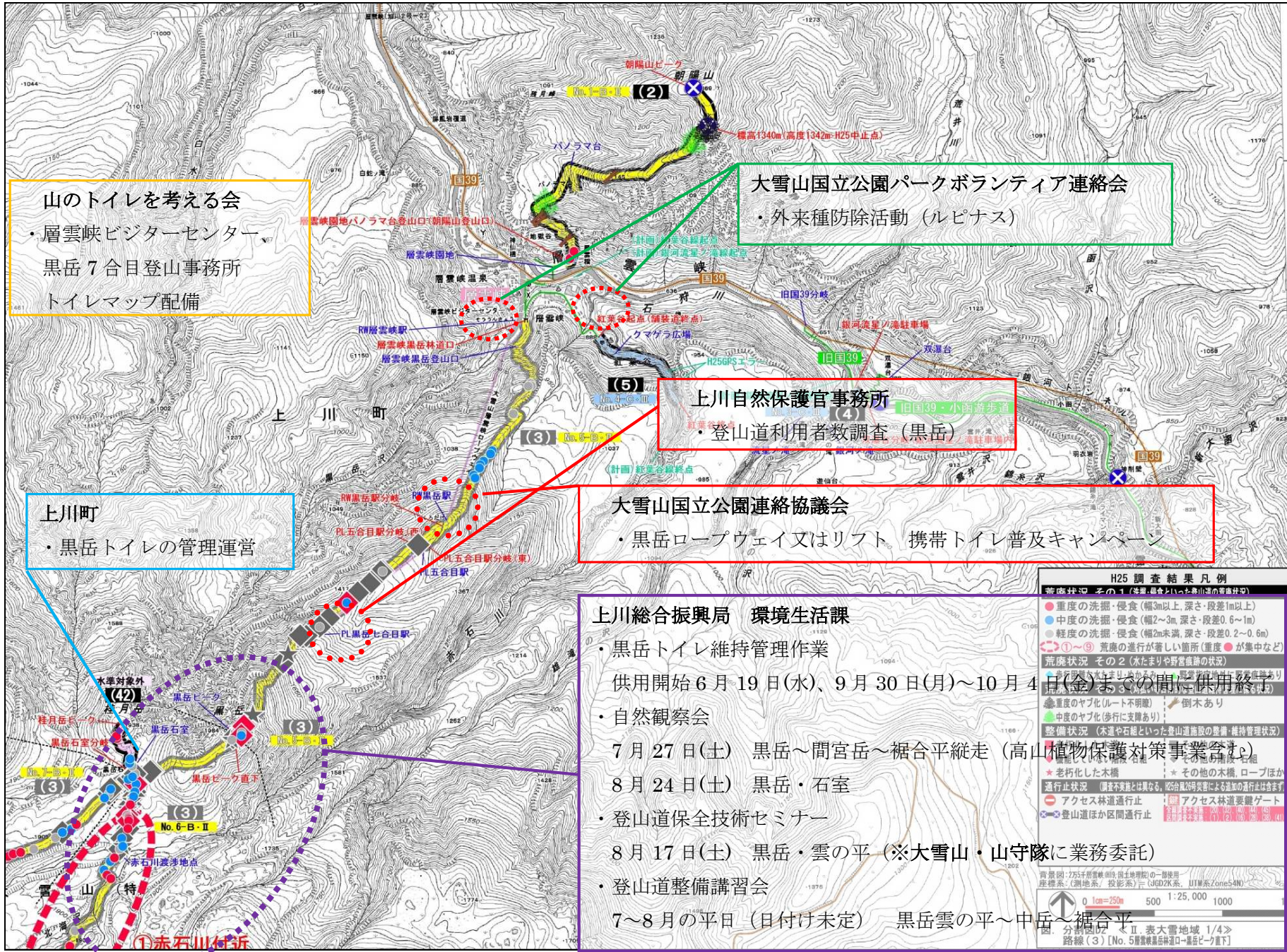
kuniko.yokosuka@icloud.com

電話 090-7645-7199 FAX 011-389-9445





令和元年度 層雲峡地区周辺 作業箇所



H25 調査結果凡例	
●	重度の洗濯・侵食 (幅3m以上、深さ・段差1m以上)
●	中度の洗濯・侵食 (幅2～3m、深さ・段差0.6～1m)
●	軽度の洗濯・侵食 (幅2m未満、深さ・段差0.2～0.6m)
○①～⑤	荒廃の進行が著しい箇所 (重度●が集中など)
○	荒廃状況 その2 (水たまりや野営痕跡の状況)
●	重度のヤブレ化 (ルート不明確)
●	中度のヤブレ化 (歩行に支障あり)
●	整備状況 (木道や石組といった登山施設の整備 維持管理状況)
●	植物保護対策事業会社
●	★ その他の木橋、ロープほか
●	通行止状況 (調査実施とは異なる、25台目27号災害による追加の通行止は含まず)
●	アクセス林道通行止 (アクセス林道要領ゲート)
●	登山道ほか区間通行止

調査範囲: 万子館登山口(特) 登山地帯(特) の一部(特) 登山地帯(特) 登山地帯(特) の一部(特)
 投影系: (測地系) 投影系: (JGD2K系) UTM系(Zone54N)
 縮尺: 0 1cm=250m 500 1:25,000 1000
 分図: Ⅱ 表大雪山地域 1/4
 路線: (3) [No. 5層雲峡黒岳林道口～黒岳トウ直下]

令和元年度 白雲避難小屋・高原温泉地区周辺 作業箇所

大雪山国立公園パークボランティア連絡会

- ・赤岳、緑岳 高山蝶パトロール
- ・高原温泉マイカー規制期間ヒグマ対応支援
- ・銀泉台マイカー規制期間利用者指導
- ・赤岳、緑岳 外来種駆除活動、セイヨウマルハナバチモニタリング

上川総合振興局 環境生活課

- ・高原温泉 自然観察会・ヒグマ観察
- ・銀泉台～赤岳～小泉岳 高山植物保護対策事業
- ・高原温泉沼巡り歩道 ヤンベタツブ沢橋梁設置 6月20日(木)、撤去 10月中旬

大雪山国立公園連絡協議会

- ・携帯トイレ普及キャンペーン (・銀泉台～赤岳・高原温泉)

北海道大学地球環境科学研究所

- ・赤岳、緑岳、銀泉台 利用者アンケート調査
- ・銀泉台、高原温泉 入林簿調査

山のトイレを考える会

- ・白雲岳避難小屋 高原温泉 トイレマップ配備

上川自然保護官事務所

- ・白雲岳避難小屋 建替え検討
- ・登山道利用者数調査(高原温泉地区、銀泉台地区)

大雪と石狩の自然を守る会

- ・緑岳 ひぐま大学

上川町

- ・携帯トイレ回収ボックスの設置・維持
- ・白雲避難小屋管理運営

北海道山岳整備

- ・ヒグマ情報センター運営

上川中部森林管理署

- ・グリーンサポートスタッフを中心に森林巡視・普及啓発活動、歩道の簡易な補修を実施(高原温泉～緑岳)

NPO アースウィンド

- ・環境省自然環境局生物多様性センター委託事業
- 赤岳、コマクサ平、黒岳 花ボランティアセミナー

H25 調査結果凡例

その1 (洗滌・侵食といった登山道の荒廃状況)

- 重度の洗滌・侵食(幅3m以上、深さ・段差1m以上)
- 中度の洗滌・侵食(幅2~3m、深さ・段差0.6~1m)
- 軽度の洗滌・侵食(幅2m未満、深さ・段差0.2~0.6m)

その2 (水たまりや野営痕跡の状況)

- 歩行困難な水たまり・ぬかるみ
- 野営指定外に野営痕跡あり

その3 (刈払い等日常的な登山道維持管理に係る状況)

- 急度のヤブ化(ルート不明瞭)
- 倒木あり
- 中度のヤブ化(歩行に支障あり)

整備状況 (木道や石組といった登山道施設の整備・維持管理状況)

- 老朽化した木道
- その他の木道
- ◆ 機能していない階段・石組
- ◆ その他の階段・石組
- ★ 老朽化した木橋
- ★ その他の木橋、ロープほか

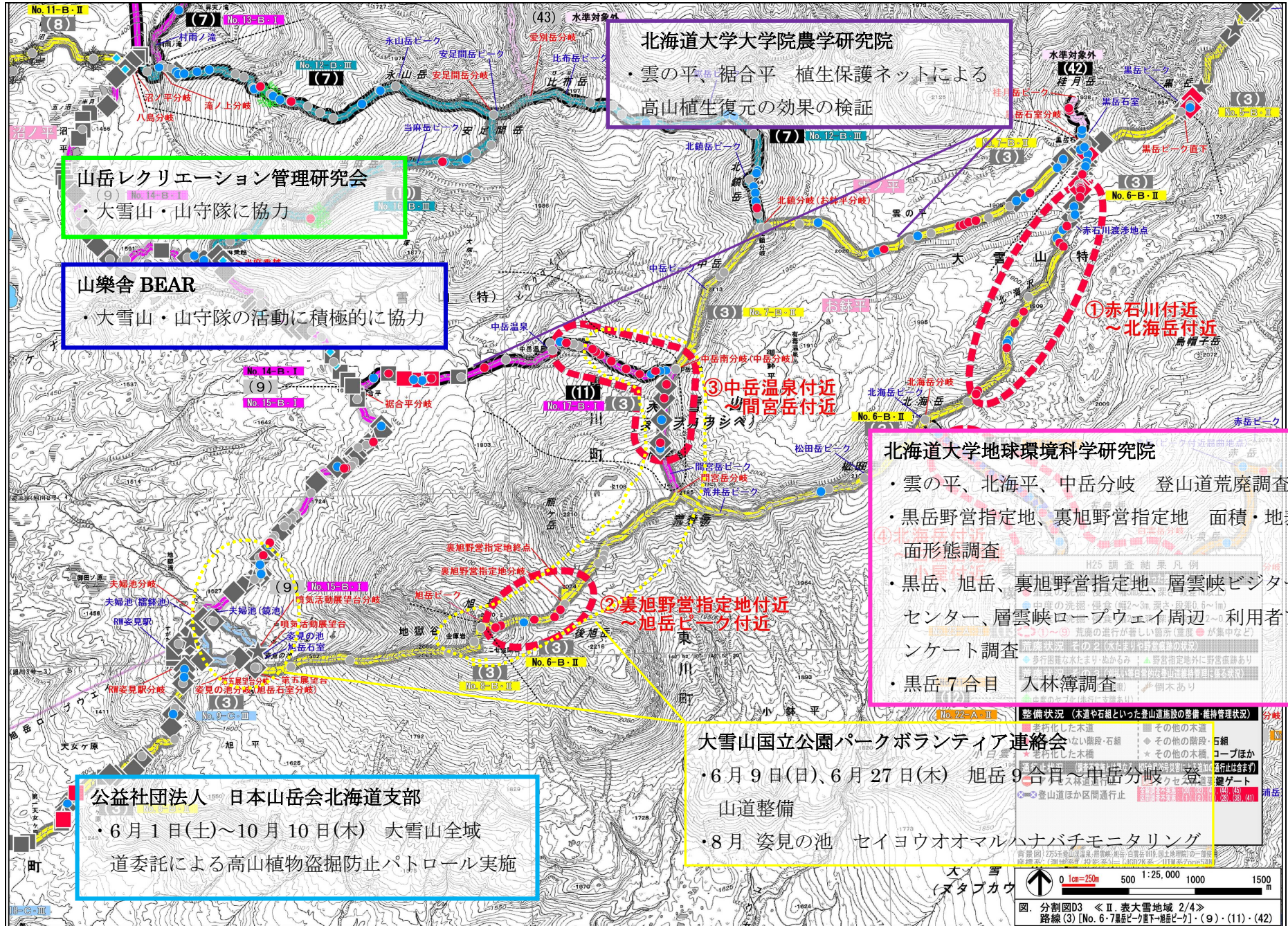
通行止状況 (調査の実施とは異なる。H25台風対策等による追加の通行止は含まず)

- アクセス林道通行止
- アクセス林道要領ゲート

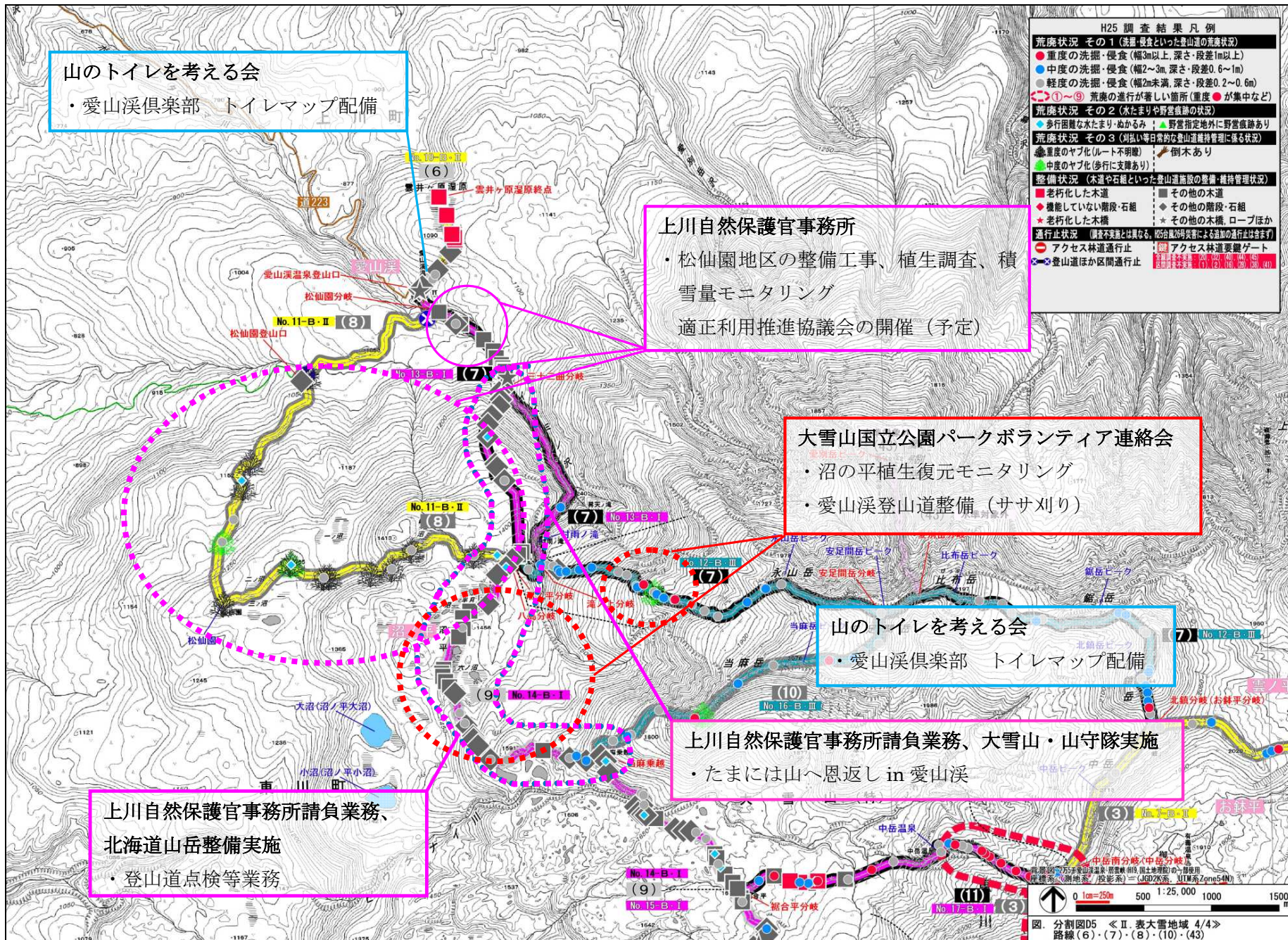
図 分割図D6 <Ⅲ 高根ヶ原地域 1/2>

0 100 200 500 1,250 1,000 1500 m

令和元年度 雲の平・北海平 地区周辺 作業箇所



令和元年度 愛山溪地区周辺 作業箇所



山のトイレを考える会
 ・愛山溪倶楽部 トイレマップ配備

上川自然保護官事務所
 ・松仙園地区の整備工事、植生調査、積雪量モニタリング
 適正利用推進協議会の開催 (予定)

大雪山国立公園パークボランティア連絡会
 ・沼の平植生復元モニタリング
 ・愛山溪登山道整備 (ササ刈り)

山のトイレを考える会
 ・愛山溪倶楽部 トイレマップ配備

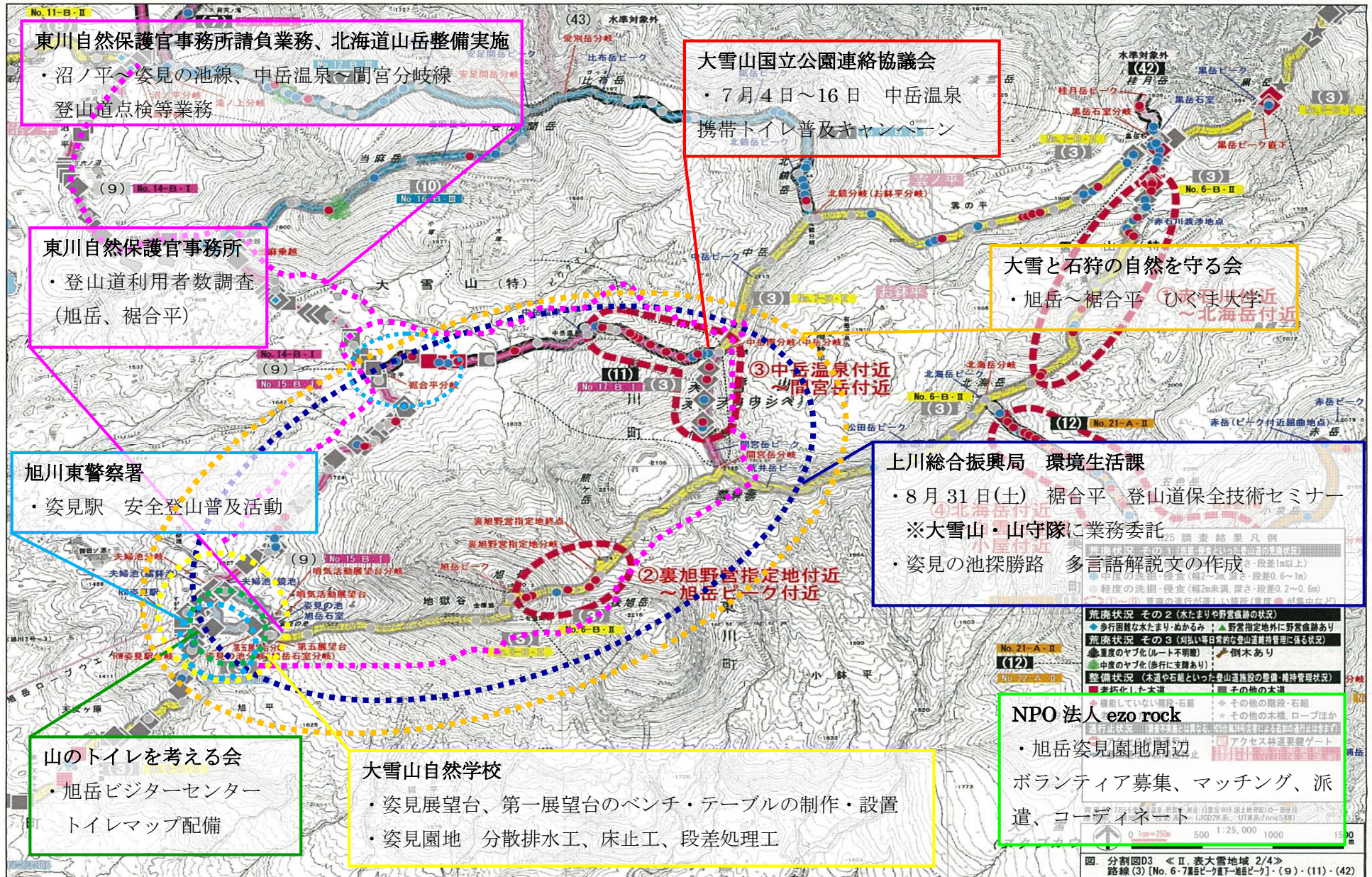
上川自然保護官事務所請負業務、大雪山・山守隊実施
 ・たまには山へ恩返し in 愛山溪

上川自然保護官事務所請負業務、北海道山岳整備実施
 ・登山道点検等業務

H25 調査結果凡例

荒廃状況 その1 (洗掘・侵食といった登山道の荒廃状況)	
● 重度の洗掘・侵食 (幅3m以上、深さ・段差1m以上)	■ その他の木道
● 中度の洗掘・侵食 (幅2~3m、深さ・段差0.6~1m)	◆ その他の階段・石組
● 軽度の洗掘・侵食 (幅2m未満、深さ・段差0.2~0.6m)	★ その他の木橋、ロープほか
①~⑨ 荒廃の進行が著しい箇所 (重度 ● が集中など)	▲ 倒木あり
荒廃状況 その2 (水たまりや野営痕跡の状況)	
● 多行困難な水たまり・ぬかるみ	▲ 野営指定地外に野営痕跡あり
荒廃状況 その3 (刈払い等日常的な登山道維持管理に係る状況)	
● 軽度のヤブ化 (ルート不明瞭)	▲ 倒木あり
● 中度のヤブ化 (歩行に支障あり)	▲ 倒木あり
整備状況 (木道や石組といった登山施設の整備・維持管理状況)	
■ 腐朽化した木道	■ その他の木道
◆ 機能していない階段・石組	◆ その他の階段・石組
★ 腐朽化した木橋	★ その他の木橋、ロープほか
通行止状況 (災害等とは異なる、刈払い時災害による追加の通行止も含む)	
○ アクセス林道通行止	▲ アクセス林道要路ゲート
○ 登山道ほか区間通行止	▲ 登山道ほか区間通行止

図. 分割図D5 << II 表大雪山地域 4/4 >>
 路線(6)・(7)・(8)・(10)・(43)



東川自然保護官事務所請負業務、北海道山岳整備実施

- 沼ノ平～姿見の池線、中岳温泉～間宮分岐線
- 登山道点検等業務

大雪山国立公園連絡協議会

- 7月4日～16日 中岳温泉
- 携帯トイレ普及キャンペーン

東川自然保護官事務所

- 登山道利用者数調査
- (旭岳、裾合平)

大雪と石狩の自然を守る会

- 旭岳～裾合平
- ひぐま大学近
- ～北海岳付近

旭川東警察署

- 姿見駅 安全登山普及活動

上川総合振興局 環境生活課

- 8月31日(土) 裾合平 登山道保全技術セミナー
- ※大雪山・山守隊に業務委託
- 姿見の池探勝路 多言語解説文の作成

山のトイレを考える会

- 旭岳ビジターセンター
- トイレマップ配備

大雪山自然学校

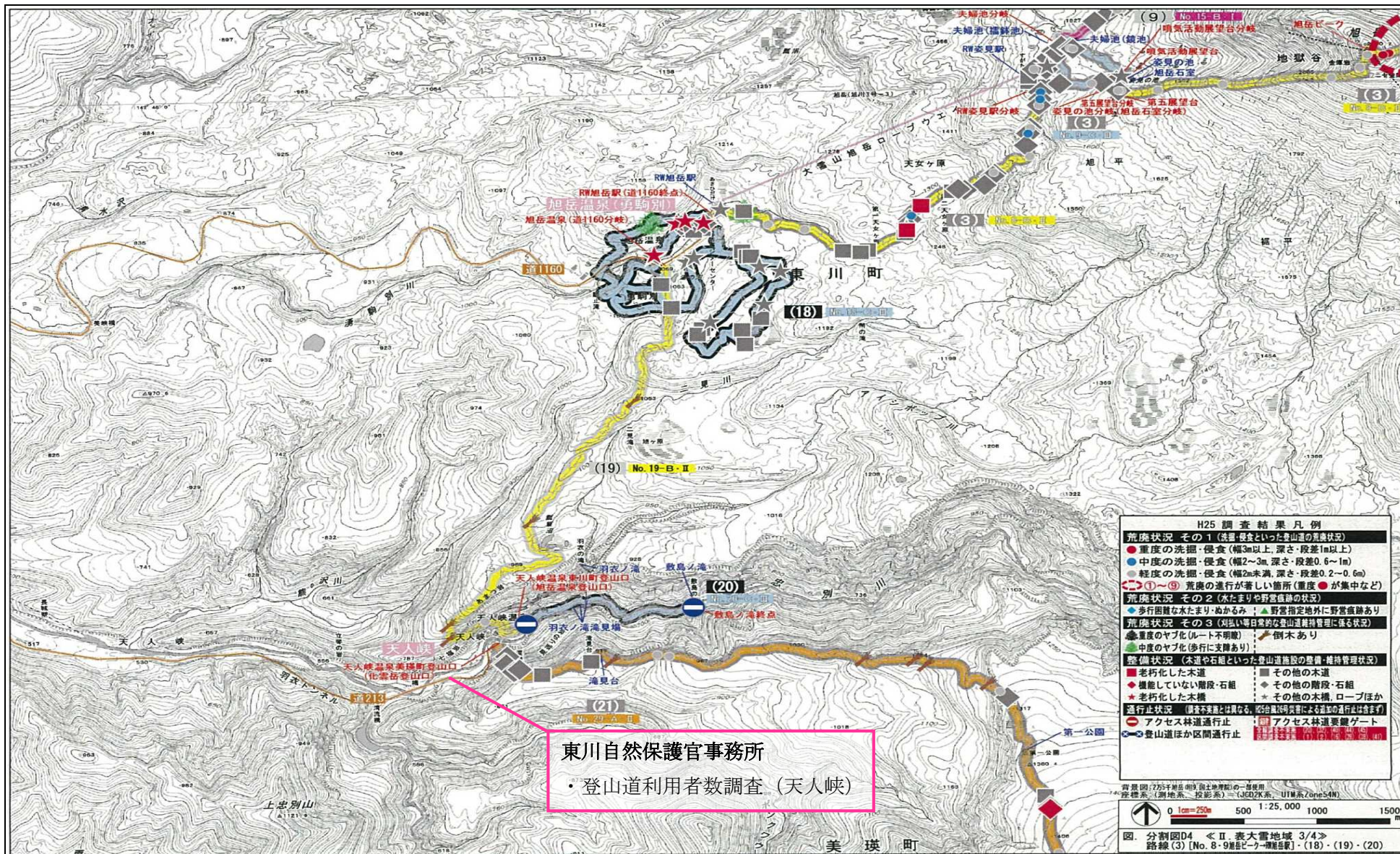
- 姿見展望台、第一展望台のベンチ・テーブルの制作・設置
- 姿見園地 分散排水工、床止工、段差処理工

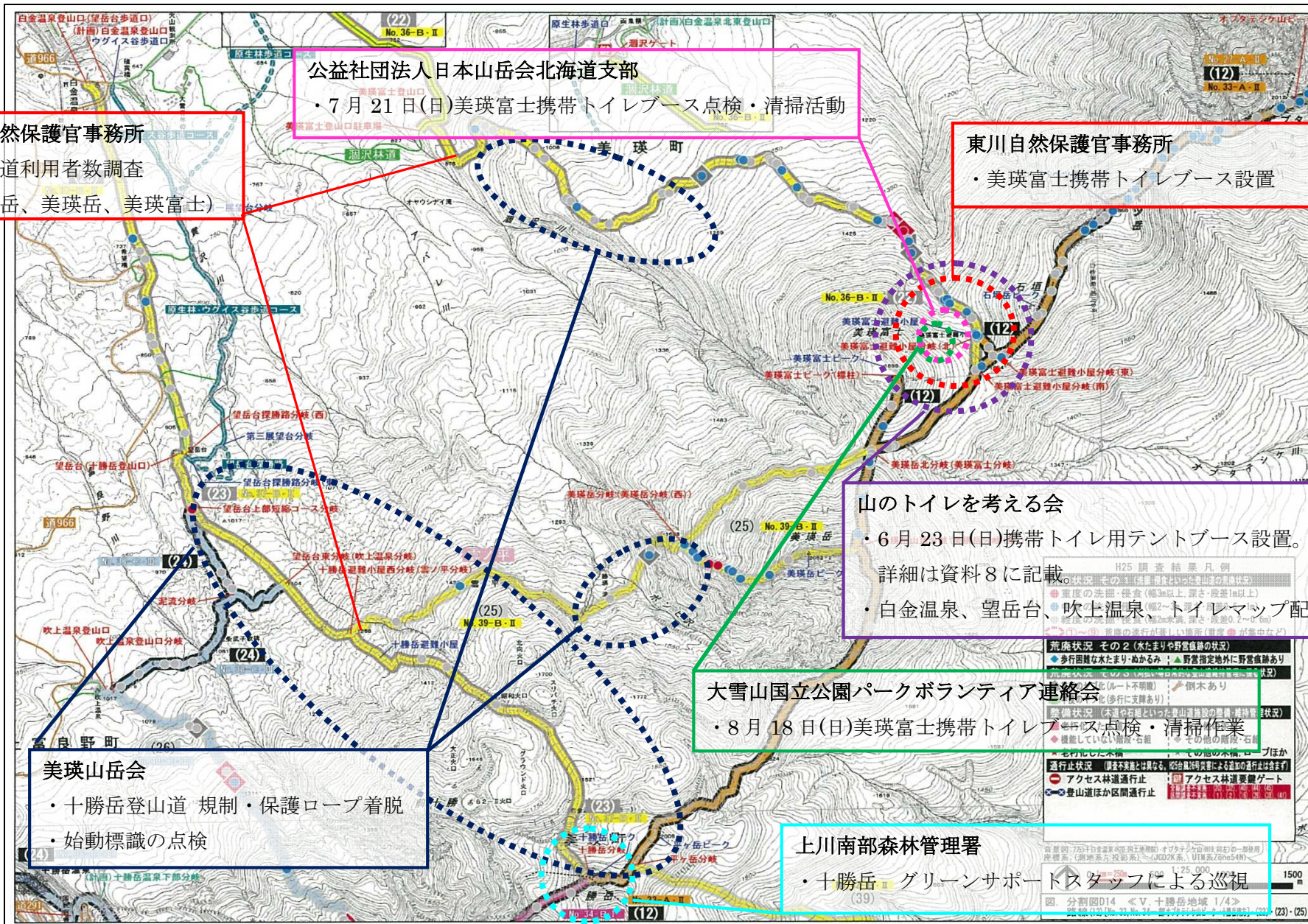
NPO 法人 ezo rock

- 旭岳姿見園地周辺
- ボランティア募集、マッチング、派遣、コーディネート

<p>① 調査結果凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歩行困難な水たまり・ぬかるみ ▲ 野営指定地外に野営痕跡あり ● 軽度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 中程度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 重度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 倒木あり 	<p>② 野営指定地外に野営痕跡あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歩行困難な水たまり・ぬかるみ ▲ 野営指定地外に野営痕跡あり ● 軽度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 中程度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 重度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 倒木あり
<p>③ 野営指定地外に野営痕跡あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歩行困難な水たまり・ぬかるみ ▲ 野営指定地外に野営痕跡あり ● 軽度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 中程度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 重度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 倒木あり 	<p>④ 野営指定地外に野営痕跡あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歩行困難な水たまり・ぬかるみ ▲ 野営指定地外に野営痕跡あり ● 軽度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 中程度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 重度のヤブ化(歩行に支障あり) ● 倒木あり

図 分割図03 <Ⅱ. 表大雪山地域 2/4> 路線(3) [No. 6・7黒岳ピーク下-裾合平]・(9)・(11)・(42)





東川自然保護官事務所
 ・登山道利用者数調査
 (十勝岳、美瑛岳、美瑛富士)

公益社団法人日本山岳会北海道支部
 ・7月21日(日)美瑛富士携帯トイレブース点検・清掃活動

東川自然保護官事務所
 ・美瑛富士携帯トイレブース設置

山のトイレを考える会
 ・6月23日(日)携帯トイレ用テントブース設置。
 詳細は資料8に記載。
 ・白金温泉、望岳台、吹上温泉、トイレマップ配備

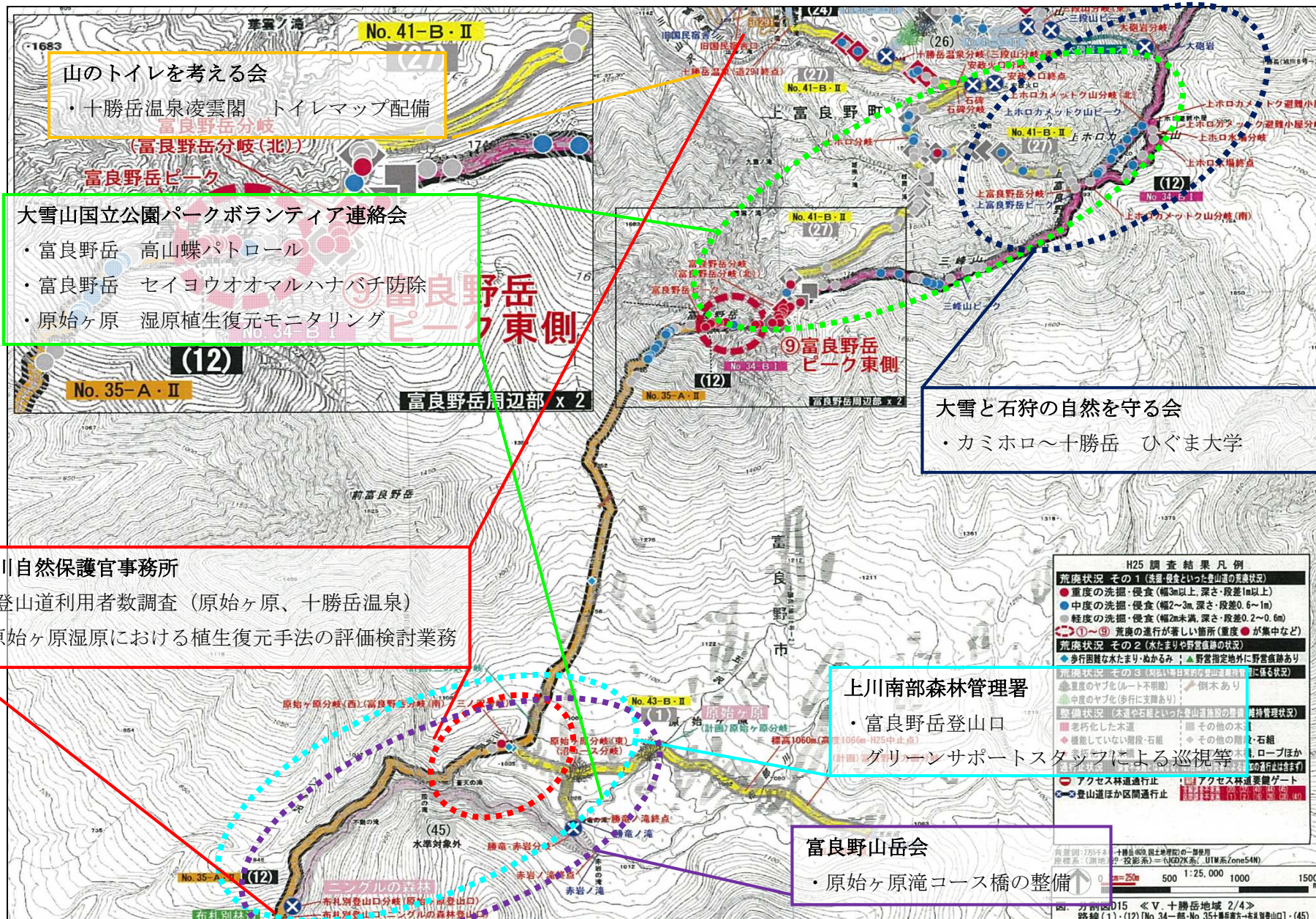
大雪山国立公園パークボランティア連絡会
 ・8月18日(日)美瑛富士携帯トイレブース点検・清掃作業

美瑛山岳会
 ・十勝岳登山道 規制・保護ロープ着脱
 ・始動標識の点検

上川南部森林管理署
 ・十勝岳 グリーンサポートスタッフによる巡視

H25調査結果凡例	
● 重度の洗濯・飲食(幅3m以上、深さ1m以上)	● 登山道状況 (ルート不明)
● 軽度の洗濯・飲食(幅2m未満、深さ0.2~1.0m)	● 崩壊していない崖・石垣
● 軽度の洗濯・飲食(幅2m未満、深さ0.2~1.0m)	● 老朽化した木橋
● 軽度の洗濯・飲食(幅2m未満、深さ0.2~1.0m)	● 倒木あり
● 軽度の洗濯・飲食(幅2m未満、深さ0.2~1.0m)	● 崩壊している崖・石垣
● 軽度の洗濯・飲食(幅2m未満、深さ0.2~1.0m)	● 崖崩れ
● 軽度の洗濯・飲食(幅2m未満、深さ0.2~1.0m)	● 通行止状況 (調査対象とは異なる。吹上温泉(吹上温泉)による追加の通行止めは含まず)
● 軽度の洗濯・飲食(幅2m未満、深さ0.2~1.0m)	● アクセシビリティ
● 軽度の洗濯・飲食(幅2m未満、深さ0.2~1.0m)	● アクセシビリティ
● 軽度の洗濯・飲食(幅2m未満、深さ0.2~1.0m)	● 登山道ほか区間通行止

図 分割図D14 <<V> 十勝岳地域 1/4
 縮尺 0:0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000 1500 m



別紙1

大雪山国立公園 歩道維持管理作業 実施計画書

2019年6月5日版 バージョン 1

No. 1

計画者	NPO法人大雪山自然学校 旭岳自然保護監視員		<input type="checkbox"/> 計画箇所について、計画者と事業執行者が同一である場合はチェック	
担当者	氏名	藤 このみ	電子メール	fuji@daisetsu.or.jp
			電話番号	0166-82-6500
対象箇所	姿見の池園地 第一展望台と第三展望台の間			
作業の目的	対象箇所付近は比較的傾斜の緩やかな場所であるが、豪雨時には流水による洗堀が見られる。周辺では2016年から床止工を行っているが、下流の階段では水勢が増し、土砂が路外に跳ね出されて植生上に堆積することがある。付近の分散排水工(2017年施工)で排出された水が再び散策路に流入する箇所でもあり、水量が多いため、新たな洗堀の防止と植生の保全のために分散排水工で水量を減らすことを目的とする。			
利用する工法	<input checked="" type="checkbox"/> 分散排水工	<input checked="" type="checkbox"/> 床止工	土留工	マルチング工
	路面処理工	<input checked="" type="checkbox"/> 段差処理工	植生基盤工	その他()
作業予定日時又は期間	7月に3日間程度		参加予定人数	2~5人
			参加者内訳	参加者の一般公募 <input type="checkbox"/> 実施する <input checked="" type="checkbox"/> 実施しない
安全対策 (保険の適用、連絡網の整備等)	旭岳自然保護監視員は労災保険。ボランティアはボランティア保険に加入。			
主な資材とその調達(予定)	資材	数量	調達方法	
	石、礫、土	0.2m ³	<input checked="" type="checkbox"/> 現地採取	搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)
			<input type="checkbox"/> 現地採取	搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)
			<input type="checkbox"/> 現地採取	搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)
			<input type="checkbox"/> 現地採取	搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)
道具の貸し出し希望 (自然保護官事務所・森林管理署)	物品	数量	希望先	貸出予定日時
位置図(地形図、国立公園の公園計画図、国有林又は道有林の施業計画図など)	登山道管理水準			
	保全対策ランク	A・B・ <input checked="" type="radio"/> C・D		
	現在のところ荒廃は激しくないが、植生を保全し、既に施工した施工物の効果を高めるものとなる。			
	利用体験ランク	<input checked="" type="radio"/> ① 2・3・4・5		
大きな段差や水溜まりへの対策を行い、歩行路を確保する。				
※事務局記入欄				
国立公園	保護規制計画:			
	利用施設計画:			
	事業執行者:	担当部署:		
土地所有	国有林・道有林・その他()	担当部署:		
天然記念物	該当あり・該当なし	担当部署:		
備考				

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

地点Aで排出された水が再び散策路内に流入する。散策路内の流水対策として施工予定箇所周辺では2016年より石での床止めを行っている。しかし豪雨時には下流の地点Bの階段で水勢が強まり、土砂が路外に跳ね出され植生上に堆積することがある。植生の保全と散策路の新たな洗堀防止のため、分散排水工で水量を減らす。

施工方法(見取図、写真等)



見取図

写真① 分岐から

施工予定箇所

分岐



水流



写真② 地点A

分散排水工

分岐付近での散策路の洗堀を減少させるため、2017年に施工。

資材: 石、礫、土(現地採取)

備考

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工方法

写真③ 地点B

豪雨の際にこの地点で土砂が路外へ排出され、植生上に堆積することがある。
写真は2016年(堆積した土砂は除去済み)

**写真④ 施工予定箇所**

分散排水工
資材:石、礫、土

※施工物周辺の洗堀防止のため床止めを行う。また施工物の高さに応じ、段差処理を行う。

**施工概略図**

- ・分散排水工は写真②と同様に施工する。一部に高さをつけた床止めを行い、歩行路を確保する。
- ・排水先にはしっかりとした植物帯があり、傾斜も緩いため、洗堀などは起こりにくいと考える。
- ・土砂の流出には注意し、障害となる石を設置するなど対策をとる。



備考

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工方法



写真⑤ 土石採取予定箇所（涵沢）

備考

昨年度の施工状況と評価

・施工予定箇所周辺の床止工(2016~2018年施工)について



写真⑥ 床止工 施工前

2016年8月豪雨により洗堀

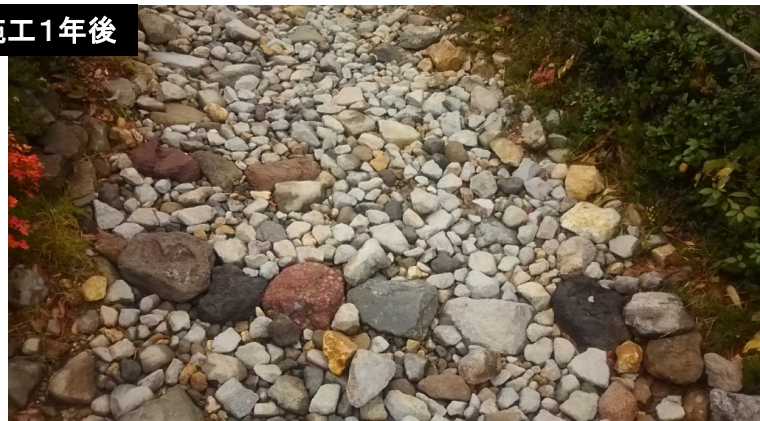


写真⑦ 床止工 施工後

下流に流された石・礫を用いた床止工

写真⑧ 床止工 施工1年後

その後施工済み箇所で大きな洗堀は起こっていないため、今回も施工物周辺に同様の床止めを施す。



備考

大雪山国立公園 登山情報



重要なお知らせ

- ◆ヒサゴ沼避難小屋改修工事
- ◆大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言

最新の登山道・自然情報



●google my mapを埋め込み

大雪山の登山道を10のエリアに分割。山域名称かルートを選択するとエリアごとの「登山道情報ページ」(→4ページ目)へ飛ぶ。

注) 表示のルートは次のとおりです。注意して下さい。
 ○ グレード5の路線はルートである範囲から離れず歩けるルートである。グレード3の路線は、ヒグマの出没が懸念されるルートである。ヒグマの出没が懸念されるルートは、ヒグマの出没が懸念されるルートである。ヒグマの出没が懸念されるルートである。

登山地図

大雪山グレード・トイレ情報入り登山地図 [表面](#) [裏面](#)

[コースタイム入り登山地図](#)

登山施設情報など

[大雪山・登山でちょっと役立つマップ](#) (一般社団法人大雪山・山守隊)

※避難小屋、野営指定地、トイレ、水場、駐車場、コンビニ、宿など登山計画に役立つ情報はこちらにも。

天気

[山の天気](#) / [雨雲の動き](#)

携帯電話通話可能エリア

[docomo](#)

ロープウェイ

[黒岳ロープウェイ](#)

[旭岳ロープウェイ](#)

最新の登山道情報・自然情報以外は、登山に役立つリンク集となっています。各項目ともリンク先【案】を貼っているのので、Ctrl+Enterでリンク先のHPを確認してみてください。

林道状況 [\(北海道森林管理局HP→\)](#)

道路状況 [\(北海道開発局HP→\)](#)

大雪山への交通アクセス ～運行状況～

飛行機	旭川空港 、 帯広空港
JR	JR北海道
バス	道北バス (層雲峡、銀泉台、美瑛)
	旭川電気軌道 (旭岳)
	ふらのバス (美瑛、富良野、上富良野)
	上富良野町営バス (十勝岳温泉、白銀荘)
	中央バス (旭川、富良野)
	十勝バス (ぬかびら源泉郷)
	拓殖バス (鹿追町、トムラウシ温泉)

登山者のみなさまへ 情報提供のお願い

山レポ大雪山(北海道大学、一般社団法人大雪山・山守隊)

※みなさまから登山道・避難小屋・野営指定地の状況に関する情報を集めています。

協力(最新の登山道情報・自然情報提供元)

[層雲峡ビジターセンター【黒岳・赤岳・緑岳】](#) [旭岳ビジターセンター【旭岳・姿見】](#) [ひがし大雪自然館【東大雪地域】](#) [大雪山自然学校【旭岳・姿見】](#) [NPO法人かむい【赤岳・黒岳】](#) [一般社団法人大雪山・山守隊【大雪山全域】](#) [NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター【東大雪地域】](#) [大雪山倶楽部【大雪山全域】](#) [十勝岳温泉湯元凌雲閣【十勝岳温泉周辺】](#) [富良野山岳会【富良野岳】](#)

※【 】は各団体が主に活動のフィールドとしている山域

大雪山国立公園における一元的な情報発信のしくみ (解説ページ→)

運営

大雪山国立公園連絡協議会／大雪山国立公園登山道関係者による情報交換会
事務局:環境省上川・東川・上士幌自然保護官事務所

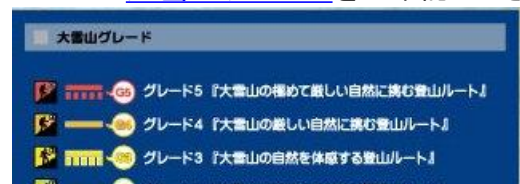
エリアごとの「登山道情報」のイメージ

愛山溪・沼ノ平の登山道情報・自然情報

冒頭にはグレードマップを掲載してグレードを確認できるようにする併せて全体図へのリンクも掲載



コースの大雪山グレードをご確認ください



大雪山全体登山地図 [表面](#) [裏面](#)

①情報提供元へリンクを張る場合(エリアごとの「登山道情報」の更新方法①参照)

滑落注意 2019-07-14

●●の滝付近では、まだ雪渓が残っており、アイゼンの装備が必要です。

<https://blog.goo.ne.jp/XXXXXXXXXXXX>

③事務局で情報を掲載する場合(エリアごとの「登山道情報」の更新方法③参照)

愛山溪温泉～当麻乗越までの路面状況 2019-07-14

上川自然保護官事務所が行った巡視結果で登山者への留意点をまとめましたので、ご覧ください。【巡視結果(PDF●KB)】

②フォーマットに沿った情報の提供を受けて、それを掲載する場合(エリアごとの「登山道情報」の更新方法②参照)

徒渉注意 2019-06-20

ファイルへのリンクを張ることができる

場所: × × 沢

内容: × × 沢は、石伝いに対岸へ渡ることができましたが、6月15日の大雨で石が流されてしまいました。徒渉は長靴を履くか、登山靴を脱いでいく必要があります。

登山者へのメッセージ(必要な場合): できる限り、長靴で行った方がよいと思います。

情報提供元: ○○○○

紅葉情報 2019-09-20

各記事冒頭にはタイトルと日付

場所: ●●平

内容: 紅葉が最盛期を迎えました。

登山者へのメッセージ(必要な場合): 写真撮影の際は登山道を外れないようにしてください。

情報提供元: ○○○○

写真も掲載できる



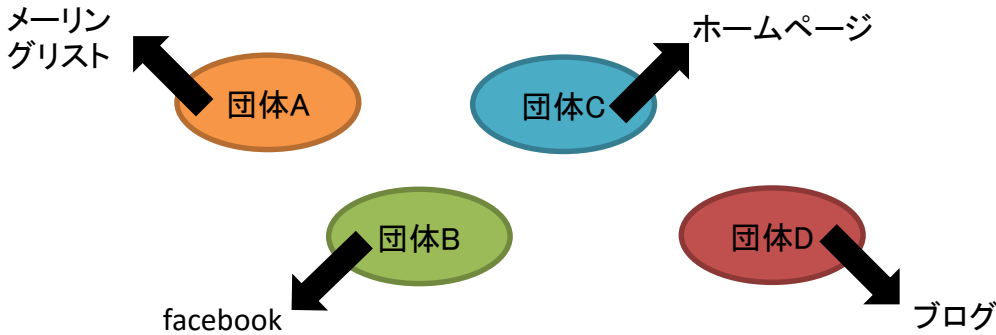
ブログのようになっていて、簡単に更新できる

大雪山国立公園における一元的な情報発信のしくみ

大雪山国立公園では、[協働型管理運営の取組](#)のひとつとして、登山道情報の一元的な発信を行っています。

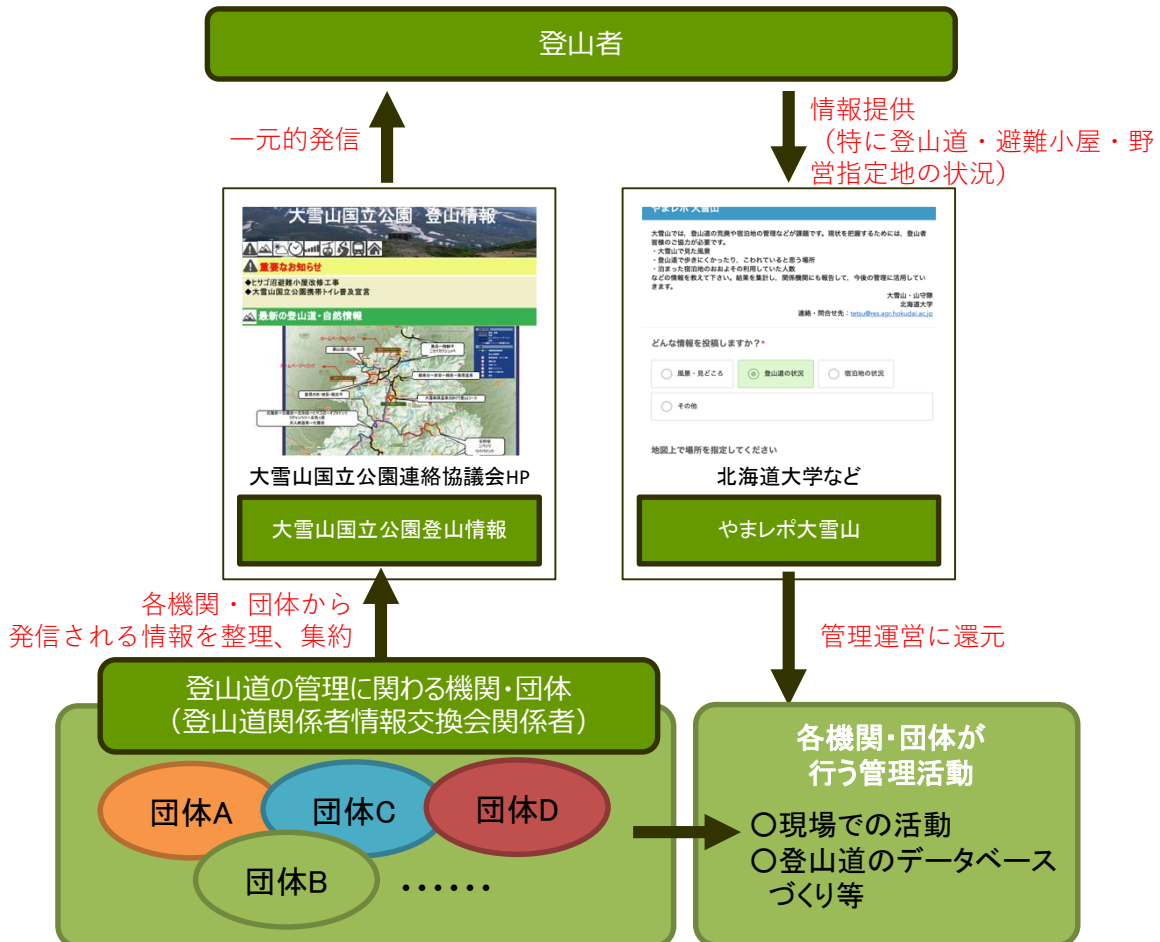
■今まで…

登山道の管理に関わる各機関・団体がそれぞれ、バラバラに情報を発信。



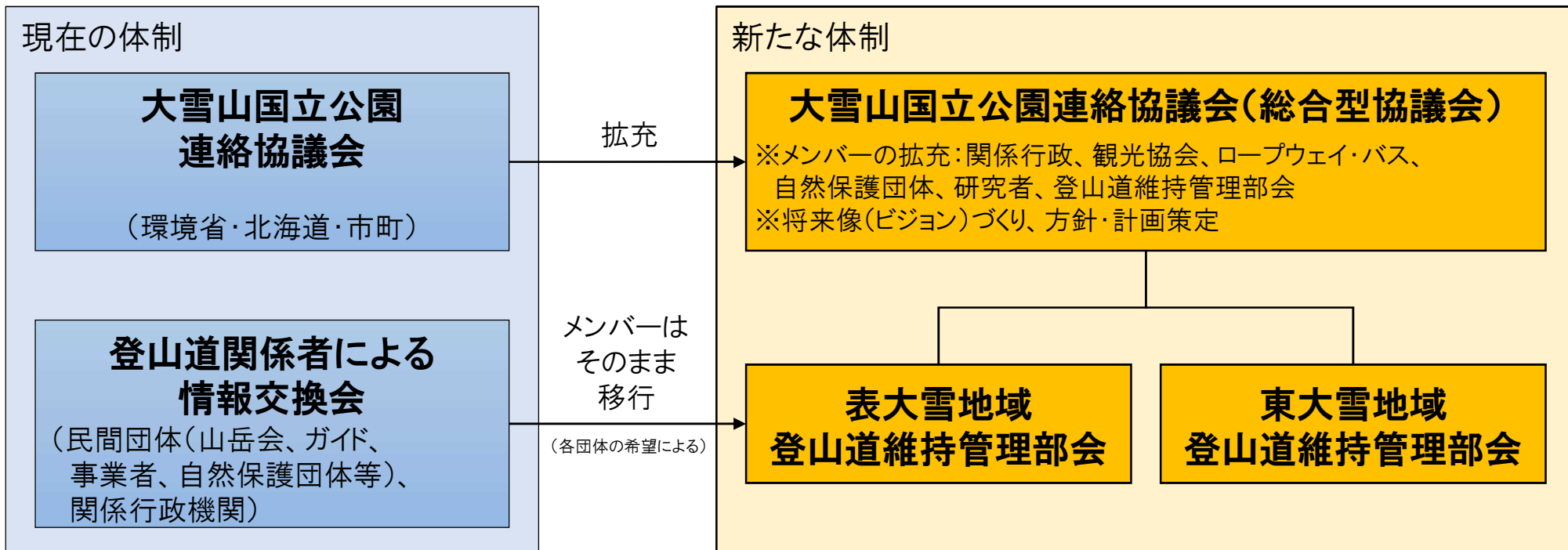
■これから

- ①各団体から発信される情報を大雪山国立公園連絡協議会ホームページで集約して発信（利用者にとってわかりやすく便利に）
- ②登山者から、登山道の管理に関わる機関・団体へ情報提供（管理への参加、コミュニケーションの促進）



※各団体から強みや魅力を活かした情報発信は継続

大雪山国立公園の新たな協働型管理運営体制 資料15



大雪山国立公園の目指す姿の実現
守る、活かす、つなげる、協働で管理運営する

協働型管理運営体制とは

- 国立公園に関係する環境省以外の国の機関、自治体、民間団体、公園事業者など多様な主体が参画する総合型協議会を中心とする体制
- 国立公園の将来像(ビジョン)、国立公園の管理運営方針や行動計画を定める体制
- 全国の国立公園で準備が整い次第、この体制を構築すること(平成26年7月7日付 環境省自然環境局長通知)

登山道維持管理部会

【目的】

- 登山道等の維持管理活動に関する総合調整、合意形成
(大雪山国立公園連絡協議会のうち、登山道の課題解決に関する部分の取組を実施)

【構成員】

- ・国立公園制度所管行政（環境省）・土地所有者（森林管理署、北海道）
- ・歩道事業執行者・関係市町：北海道、市町等
- ・山岳会関係者 ・ガイド事業者 ・ビジターセンター関係者
- ・保全活動団体（パークボランティア等）・登山道整備の専門家
- ・研究者、自然保護団体 等

※部会会合へは、オブザーバー（傍聴者）も参加。

構成員から代表者を選び、大雪山国立公園連絡協議会に出席

■事務局（業務の一部民間団体請負も想定）
環境省

【予算】

- 当面の間、大雪山国立公園連絡協議会の会計から必要な事項を支出

【取組】

- 構成員間の情報交換
- 登山情報の一元的な発信
- 歩道等維持管理実施手順マニュアルに基づく関係者間の調整、作業結果の検討
- 人材育成（セミナー、ボランティア受入）、技術の蓄積と伝承
- 登山道等維持管理の適正化に向けた議論（歩道事業未執行区間の解消）
- 施設の老朽化対策 等

運営について【案】

○構成員とオブザーバー

- ・ 構成員：議論に参加して意見を言い、コンセンサスに参加
- ・ オブザーバー：原則として傍聴のみ。意見がある場合は構成員を通じて伝えてもらう。

※民間団体については、部会立ち上げ前に、構成員として参加したいか、オブザーバーとして参加したいか選択。

【参考】

- ・ 部会はできる限り、各立場を代表する団体に出席をゆだね、その他はオブザーバーとして参加してスリム化を図ることが理想。
- ・ ただし、これまでの登山道関係者による情報交換会の経緯を踏まえ、現時点で構成員の数に制限は設けない（希望者は構成員になることができる。）。

○代表者

- ・ 民間団体の中から選出（各人が経験を積むため、1年交代の持ち回り。）
- ・ 大雪山国立公園連絡協議会に登山道維持管理部会の意見を伝える役割。
- ・ 事務局（環境省自然保護官事務所）が代表者を補佐する。

○部会の意思決定方法

- ・ コンセンサス方式（他の一般的な協議会等と同じ）

今後のスケジュール

令和元年春期 登山道維持管理部会の運営概要について
(今回)

令和元年冬期 登山道維持管理部会の運営詳細について (規約等)
仮代表選出

令和元年度末まで 仮代表者の大雪山国立公園連絡協議会への参加、ビジョンの議論
大雪山国立公園連絡協議会改組、登山道維持管理部会設置決定)

令和2年春期 登山道維持管理部会立ち上げ、第1回実施

登山道技術指針運用・活用ワーキンググループ 運用方針

令和元年6月
登山道関係者による情報交換会事務局

I. 作業計画者向け

1. 作業計画書の作成

- ワーキンググループの委員が作業の内容が具体的にイメージできるように心がけてください。
- 写真の他、施工箇所及びその周辺を含む見取り図（水の流れの発生源や水の行先、土砂採取箇所等施工に関係する要素を含む図）も含めて記載すると分かりやすい計画書になります。可能であれば衛星写真、航空写真、登山道データベースの動画からの取得した画像等の活用を検討ください。
- 土砂の採取については、景観に対する影響は大きく、採取する位置、採取する量、写真による現地の状況は明確にしてください。

2. 事務局への提出

- ワーキンググループにおいて、十分な検討時間を確保するため、作業実施の1か月前までには計画書を作成して提出するように努めてください。なお、行政機関が当年度の請負・委託契約により実施する場合で施工まで時間がない場合は、概要をもって検討を行いますので、準備でき次第提出してください。
- 本来は、前年度に次の年度に実施する補修作業計画を検討して、当年度シーズン開始までに、計画書を事務局に提出して、ワーキンググループに計画を提出することが望ましく、将来的にはそのようなサイクルを構築することを目指すべきことも留意してください。

3. 意見の検討

- 作業計画者は、自らの立てた作業計画により技術指針の目標である「奥深く原生的な大雪山にふさわしい登山道を継承する」を実現するとの目的意識を強く持ち、委員から提出されたそれぞれの意見について、主体的に検討して取捨選択して対応することを原則とします。
- ただし、大雪山が原生的な自然環境を有するため補修作業の技術的な品質を確保する必要があることから、補修作業を実施することにより影響が大きく作業の再考を求める意見が出た場合は、計画者はそれに従ってください。なお、作業の再考が求められた場合、その後の手続きは、個別に検討します。

4. 報告書の作成、モニタリング計画

- 前年度及びそれ以前に実施した作業を継続する場合や隣接する箇所で実施する場合、前年度及びそれ以前に実施した作業の評価を実施してから計画を立ててください。

Ⅱ. ワーキンググループ委員向け

1. 作業計画の受理、委員への意見照会

- 事務局からの照会のメ切は、案件ごとに事務局において検討して照会します。
- ただし、現地を確認したい場合等でメ切を延ばしたい場合は、委員から事務局にご相談ください。

2. 委員による意見の作成

- 意見を作成する際、当該意見はあくまで計画された作業に対してのものであることに留意してください。
- 例えば、「この場所に限らず全体でそのような対応が必要」等といった内容は、個別の計画内容に対する意見ではなく将来的に又は理想的には実施すべき作業を提示するものです。計画者が「ワーキンググループから将来的に又は理想的には実施すべき作業も含めて、指示された又は了解した」との誤解が生じる内容にならないよう気を付けてください。

3. 委員意見の事務局とりまとめ及び作業計画者に対する連絡

- 作業計画者に対して、委員からの意見が分かりやすく伝わるように、事務局がとりまとめを行います。この際、文章表現や体裁を統一化する観点、計画者のやる気が削がれないように配慮する観点等から、編集を行います。
- とりまとめは、各委員に生じる手間を考慮し、原則事務局一任とさせていただきます。
- なお、当面の間、各委員からどのような内容の意見があったかの紹介に留めます。意見の内容それ自体を調整してワーキンググループ全体としての見解を出すことは、施術指針の適用、評価の事例が少ない現時点では困難であると考えられるためです。

4. 事務局について

- 計画の対象となる歩道に管理者が設定されている場合は、当該作業計画の検討作業に、歩道管理者も事務局として参加します。